

遠野市教育委員会の権限に属する  
事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価報告書  
(令和4年度実施事業)



遠野市教育委員会関係機関 共通ロゴマーク  
(平成27年7月10日制定)

令和6年1月  
遠野市教育委員会

# 目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会の構成	2
2	教育委員会の会議の招集状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会及び臨時会	2
(2)	総合教育会議	6
4	教育委員会の会議以外の活動状況	7
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	12
1	ふるさと教育の推進	15
(1)	就学前教育の充実	15
(2)	学校教育の充実	18
(3)	高等学校への支援	34
2	生涯学習の推進	36
(1)	社会教育の充実	36
(2)	芸術文化活動の推進	40
3	ふるさとの文化の継承・創造	41
(1)	郷土文化の保存と活用	41
(2)	文化財の保護と継承	43
(3)	郷土の文化を生かした地域創生	47
4	健康づくりの推進	50
(1)	健康づくり活動の推進	50
5	子育て支援の推進	53
(1)	少子化対策・子育て支援	53
IV	外部評価の実施	59

## 【資料】

資料 No. 2-1 第2次遠野市総合計画後期基本計画  
令和4年度 まちづくり指標 実績概要

資料 No. 2-2 第2次遠野市総合計画後期基本計画  
令和4年度 教育関連まちづくり指標実績

掲載事務事業一覧

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
15	1	(1)	②	わらすっこの療育支援事業費	子育て支援課
16	1	(1)	②	保育所等運営事業費（保育所運営委託）	子育て支援課
17	1	(1)	②	保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	子育て支援課
17	1	(1)	②	幼稚園応援事業費	子育て支援課
19	1	(2)	①	体育・文化行事奨励費	学校教育課
19	1	(2)	①	令和・南部藩寺子屋交流事業費	学校教育課
20	1	(2)	①	魅力ある学校づくり事業費	学校教育課
20	1	(2)	①	特別支援教育推進事業費	学校教育課
21	1	(2)	①	特定教科集中対策事業費	学校教育課
22	1	(2)	①	学力向上対策事業費	学校教育課
23	1	(2)	②	小学校管理費	学校総務課
24	1	(2)	②	小学校管理費（繰越明許費）	学校総務課
25	1	(2)	②	木の温もりに触れる環境づくり事業	学校総務課
25	1	(2)	②	通学対策費（小学校）	学校総務課
26	1	(2)	②	教材整備費（小学校）	学校総務課
26	1	(2)	②	就学援助費（小学校）	学校総務課
27	1	(2)	②	小学校屋内運動場長寿命化改修事業費（繰越明許費）	学校総務課
28	1	(2)	②	小学校校舎長寿命化改修事業費	学校総務課
28	1	(2)	②	中学校管理費	学校総務課
28	1	(2)	②	中学校管理費（繰越明許費）	学校総務課
29	1	(2)	②	通学対策費（中学校）	学校総務課
29	1	(2)	②	教材整備費（中学校）	学校総務課
30	1	(2)	②	就学援助費（中学校）	学校総務課
30	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【小中学校感染症予防対策消耗品等購入】	学校総務課
31	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【スクール・サポート・スタッフ配置】	学校教育課
31	1	(2)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金】	学校教育課
32	1	(2)	③	学校給食事業費	学校給食センター
33	1	(2)	④	学校と地域の連携・協働推進事業費	生涯学習スポーツ課
34	1	(3)	①	育英事業費	学校総務課
35	1	(3)	①	高校魅力化サポート事業費	未来づくりサポート室
36	2	(1)	①	学びのまちづくり推進事業費	生涯学習スポーツ課
37	2	(1)	③	若者と女性の活躍推進事業費	生涯学習スポーツ課
38	2	(1)	④	高齢者元気アップ活動事業費	生涯学習スポーツ課

ページ	基本方針	方向	展開	事業費の名称	担当課
38	2	(1)	⑤	青少年健全育成活動事業費	生涯学習スポーツ課
39	2	(1)	⑤	国際交流推進事業費	生涯学習スポーツ課
40	2	(2)	①	芸術文化振興事業費	生涯学習スポーツ課
41	3	(1)	①	博物館費	文化課
42	3	(1)	②	図書館費	文化課
43	3	(2)	①	文化財調査保護費	文化課
44	3	(2)	①	埋蔵文化財発掘調査費	文化課
44	3	(2)	①	文化的景観保存事業費	文化課
45	3	(2)	①	重要文化財千葉家住宅整備事業費	文化課
46	3	(2)	③	遠野遺産認定事業費	文化課
47	3	(3)	①	遠野文化調査研究費	文化課
48	3	(3)	②	こども本の森遠野運営管理費	こども本の森運営企画室
48	3	(3)	③	「遠野市史」編さん事業費	文化課
50	4	(1)	①	生涯スポーツ推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	①	アスリートスポーツ推進事業費	生涯学習スポーツ課
51	4	(1)	②	先導的共生社会ホストタウン推進事業費	生涯学習スポーツ課
52	4	(1)	③	ばすぼる推進事業費	総合食育課
53	5	(1)	①	看護保育安心サポート事業費	子育て支援課
54	5	(1)	①	わらすっこの居場所事業費	子育て支援課
54	5	(1)	①	ファミリー・サポート・センター推進事業費	子育て支援課
55	5	(1)	①	みんなで応援子育てのまち推進事業費	子育て支援課
56	5	(1)	②	未来へつなぐこども家庭支援事業費	子育て支援課
56	5	(1)	②	児童館施設整備事業費	子育て支援課
57	5	(1)	②	白岩児童センター整備事業費	子育て支援課
57	5	(1)	②	遠野北小学校エリア子どもの居場所づくり推進事業費	子育て支援課
57	5	(1)	②	遠野北小学校エリア子どもの居場所づくり推進事業費 (繰越明許費)	子育て支援課
58	5	(1)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (子育て施設訪問支援)	子育て支援課
58	5	(1)	②	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (保育施設等感染症対策)	子育て支援課

## I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条第1項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

この報告書は、遠野市教育委員会（一部の事業にあっては、首長部局）が令和4年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況を、第2期 遠野市教育振興基本計画（計画年度：平成28年度から令和7年度まで）の施策体系ごとにまとめ、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

さらに附属資料として、第2次遠野市総合計画 後期基本計画のまちづくり指標に関する実績資料を添付しています。

## II 教育委員会の活動

### 1 遠野市教育委員会の構成

(令和6年1月1日現在)

職名	氏名	任期
教育長	佐々木 一人	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	菊池 崇	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで
委員	菊池 和子	令和4年11月26日から令和8年11月25日まで
委員	藤山 重理子	令和2年11月26日から令和6年11月25日まで
委員	小玉 淳浩	令和5年11月26日から令和9年11月25日まで

### 2 教育委員会の会議の招集状況

令和4年度は、定例会を毎月1回(計12回)、臨時会を9月、2月、3月(計3回)、定例会と臨時会を合計15回招集・開催しました。

### 3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

#### (1) 教育委員会定例会及び臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、令和4年度に教育委員会定例会及び臨時会において審議した案件は、29件です。

#### 【議案の性質別件数】

分類	項目	件数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	5
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	3
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	6

分類	項 目	件 数
5	教職員の人事異動の方針を定めること	1
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと（県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。）	2
7	附属機関の委員の任免に関すること	8
8	表彰に関すること	1
9	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関する こと	1
10	教育委員の辞職に関すること。	1
計		29

#### 【令和4年度 教育委員会会議 提出議案一覧】

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
令和4年4月定例会（第1回 / 4月11日(月)開催）				
10	遠野市就学指導委員会委員の委嘱及び任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和4年 4月11日	承認	7
11	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和4年 4月11日	承認	7
令和4年5月定例会（第2回 / 5月25日(水)開催）				
12	遠野市民センター運営協議会委員の委嘱及び任命に関し議決を求めることについて	令和4年 5月25日	可決	7
13	遠野市就学指導委員会委員の任命の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和4年 5月25日	承認	7
令和4年6月定例会（第3回 / 6月23日(木)開催）				
14	遠野市民センター運営協議会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	令和4年 6月23日	承認	7
15	遠野市総合食育センター運営審議会委員の解嘱及び委嘱に関し議決を求めることについて	令和4年 6月23日	可決	7

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
令和4年7月定例会（第4回 / 7月29日(金)開催）				
16	令和5年度使用小学校教科用図書の採択に関し 議決を求めることについて	令和4年 7月29日	可決	3
17	令和5年度使用中学校教科用図書の採択に関し 議決を求めることについて	令和4年 7月29日	可決	3
18	遠野市教育委員会公印規程の一部を改正する訓 令の制定について	令和4年 7月29日	可決	2
令和4年8月定例会（第5回 8月18日(木)開催）				
19	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関 する意見の申出について（構造改革特別区域法 に基づく措置の適用を受けることの見直しに伴 う関係条例の整備に関する条例の制定について ）	令和4年 8月18日	可決	4
20	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関 する意見の申出について（遠野市学校給食条例 の制定について）	令和4年 8月18日	可決	4
21	令和4年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関 し議決を求めることについて	令和4年 8月18日	可決	8
令和4年9月臨時会（第6回 / 9月21日(水)開催）				
22	遠野市教育委員会委員の辞職の同意について	令和4年 9月21日	可決	10
令和4年9月定例会（第7回 / 9月29日(木)開催） * 議案審議なし				
令和4年10月定例会（第8回 / 10月21日(金)開催） * 議案審議なし				
令和4年11月定例会（第9回 / 11月28日(月)開催）				
23	令和5年度遠野市立小中学校教職員定期人事異 動方針に関し議決を求めることについて	令和4年 11月28日	可決	5
令和4年12月定例会（第10回 / 12月20日(火)開催）				
24	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱 に関し議決を求めることについて	令和4年 12月20日	可決	7
令和5年1月定例会（第11回 / 1月20日(金)開催） * 議案審議なし				
令和5年2月定例会（第12回 / 2月7日(火)開催）				
1	令和5年度遠野市教育行政推進の基本方針に関 し議決を求めることについて	令和5年 2月7日	可決	1
2	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関 する意見の申出について（遠野市個人情報保護の保 護に関する法律施行条例の制定について）	令和5年 2月7日	可決	4



議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
3	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（遠野市行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について）	令和5年 2月7日	可決	4
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について）	令和5年 2月7日	可決	4
5	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案に関する意見の申出について（令和5年度遠野市一般会計予算）	令和5年 2月7日	可決	4
6	令和5年度学校給食費の額の決定に関し議決を求めることについて	令和5年 2月7日	可決	3
7	遠野市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	令和5年 2月7日	可決	2
<b>令和5年2月臨時会（第13回 / 2月22日(水)開催）</b>				
8	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めることについて	令和5年 2月22日	可決	9
9	令和5年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	令和5年 2月22日	可決	6
<b>令和5年3月臨時会（第14回 / 3月16日(木)開催）</b>				
10	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	令和5年 3月16日	可決	6
<b>令和5年3月定例会（第15回 / 3月22日(水)開催）</b>				
11	遠野市文化財保護審議会委員の委嘱に関し議決を求めることについて	令和5年 3月22日	可決	7
12	遠野市学校給食条例施行規則の制定について	令和5年 3月22日	可決	2
13	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	令和5年 3月22日	可決	2
14	遠野市教育委員会専決代決規程及び遠野市教育委員会事務局職員等の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	令和5年 3月22日	可決	2

## (2) 総合教育会議

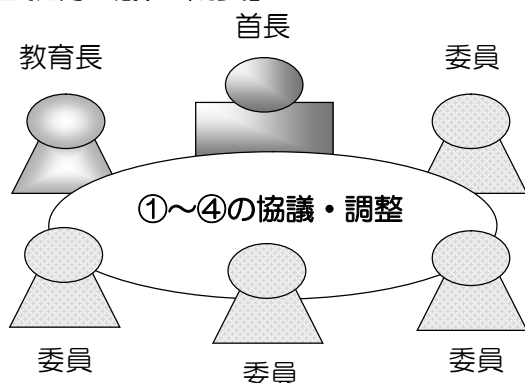
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（平成27年4月1日施行）により、首長は、首長及び教育委員会で構成する「総合教育会議」を設けることとされています。

総合教育会議は、首長と教育委員会とが、対等な執行機関として相互の十分な意思疎通を図るため、下の図に掲げる協議や調整を行い、地域における教育に関する課題やあるべき姿を共有することにより、より一層の民意を反映した教育行政を推進することを目的としています。

令和4年度は1回招集され、以下の内容に関する協議が行われました。

開催期日等	協議内容
第1回 令和5年1月20日	(1) 未来づくりサポート大作戦について

### 【総合教育会議の概要】



※ 市長の諮問を受けて調査・研究・審議を行う「附属機関」には当たらないとされている。

- 首長が招集する。
- 会議は原則として公開する。
- 構成員は首長と教育委員会。  
(必要に応じて、意見聴取者の出席を要請する。)

- 「協議」とは・・・  
幅広く行われる、首長と教育委員会相互の自由な意見交換。
- 「調整」とは・・・  
教育委員会の権限に属する事務と、首長の権限に属する事務の調和を図ること。

- ① 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定に関する協議
- ② 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策についての協議
- ③ 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置についての協議
- ④ ①から③までの事項に関する構成員の事務の調整

- 首長が教育行政に果たす責任や役割を明確にするとともに、  
首長が公の場で教育政策について議論することが可能に
- 首長と教育委員会が上記①～④の協議・調整を行うことにより、  
両者が教育政策の方向性を共有し、一致して事務の執行に当たること可能に

## 4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の構成員（教育長及び教育委員）は、上記に掲げる会議のほか、以下のとおり各種行事、会議等に出席しました。

### 【遠野市議会】（教育長のみ）

月	会 議 名 等
5月	本会議（臨時会）、議員全員協議会
6月	本会議、予算等審査特別委員会、議員全員協議会
7月	本会議（臨時会）、議員全員協議会
8月	本会議、議員全員協議会
9月	本会議、予算等審査特別委員会、決算特別委員会
11月	本会議（臨時会）、本会議、議員全員協議会、
12月	本会議、予算等審査特別委員会
2月	本会議、議員全員協議会
3月	本会議、予算等審査特別委員会、本会議（臨時会）、議員全員協議会

### 【学校訪問】

月	行 事 名 等
5月	授業交流会（遠野西中学校）
6月	授業交流会（土淵小学校） 英語活動授業参観（上郷小学校） 学校懇談会（青笹小学校）
10月	学校懇談会（宮守小学校） 実践交流会（小友小学校） 実践交流会（綾織小学校）
11月	実践交流会（遠野東中学校） 外国語活動参観（上郷小学校）

### 【各種行事、会議等】（教育長、教育委員が出席した主なものを列記）

月	行 事 名 等
4月	新教育長辞令交付式 新教育長就任式 教育委員会事務局定期人事異動辞令交付式 新採用教職員辞令交付式 小中学校転入教職員等着任式 小学校入学式、中学校入学式

月	行 事 名 等
4 月	遠野市校長会定期総会 市内小中学校長会議（第1回） 小中学校副校長・事務担当者会議 教育委員会定例会（4月） 管内教育長会議 遠野市総合計画審議会 教育研究所運営委員会 遠野市奨学生選考委員会 遠野市森林愛護少年団育成協議会総会 遠野市芸術文化協会総会
5 月	研究指定校連絡協議会 全国都市教育長協議会定期総会・研究大会 岩手県市町村教育委員会協議会定期総会 遠野市交通安全対策協議会総会 教育委員会定例会（5月） 生徒指導推進協議会定期総会 教職員の働き方改革推進会議（第1回） 議員全員協議会 市議会臨時会
6 月	遠野市校長会研修会 遠野東中学校区授業交流会（土淵小学校） 遠野市議会6月定例会 遠野市中学校総合体育大会 遠野市緑化祭「里山フェスタ2022」 生徒指導主事会議 叙位伝達式 教育委員会定例会（6月） 奨学生選考委員会 市内小中学校長会議（第2回） 市民センター運営協議会
7 月	総合食育センター運営審議会 議員全員協議会 遠野市議会臨時会 日本教育会岩手県支部遠野地区会総会・講演会 こども本の森 1周年セレモニー 岩手県に対する統一要望 教育委員会定例会（7月）

月	行 事 名 等
8月	名誉市民等の墓参 遠野市コミュニティ・スクール推進研修会 市内副校長研修会 遠野市総合計画審議会（第2回） 戦没者追悼・平和祈念式 教育委員会定例会（8月） 議員全員協議会 市内小中学校長会議（第3回） 愛知県大府市との児童交流事業 兵庫県福崎町との児童交流事業
9月	遠野市議会9月定例会 遠野市中学校新人大会 教育委員会臨時会 教育委員辞令交付式 遠野市地域・学校連携講演会 教職員の働き方改革会議（第2回） 市政課題イノベーション会議 教育委員会定例会（9月） 勤続功労者表彰及び永年勤続表彰式
10月	遠野市少年消防クラブ防火野球大会 市制施行17周年記念功労者表彰式 遠野市いじめ防止等対策委員会 市内小中学校長会議（第4回） 遠野市小学校音楽祭 教育委員会定例会（10月） 東北中学校女子駅伝大会出場報告会（遠野中学校陸上部） 実践交流会（小友小学校） 実践交流会（綾織小学校）
11月	実践交流会（遠野東中学校） 管内教育長会議 遠野地区中学校総合文化祭 議員全員協議会 臨時議会 教育研究所運営委員会 岩手県学校教育ICT推進協議会 県教育委員会と市町村教育委員会の意見交換会 岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会会議 部活動地域移行検討委員会 市内小中学校長会議（第5回） 教育委員辞令交付式 教育委員会定例会（11月）

月	行 事 名 等
12月	遠野市議会12月定例会 アメリカ・チャタヌーガ市姉妹都市締結5周年記念事業 遠野市教育文化振興財団合併10周年記念式典・記念講演会 叙位伝達 寄付採納式 教育委員会定例会（12月） 仕事納め式
1月	仕事始めの式 遠野市民新年交賀会 消防出初式 成人式「はたちのつどい」 遠野市教育研究所教育研究発表会 地域で子どもを育てる活動発表会 教育委員会定例会（1月） 遠野市総合教育会議（第1回） 寄付採納式 市町村教育委員会協議会研修会 遠野文化遺産セッション
2月	管内教育長会議 遠野市総合食育センター運営審議会 環境・科学研究発表会 遠野市教育文化振興財団合併10周年記念講演会 令和4年度中高生グローバル人材育成事業報告会 遠野市教育委員会定例会（2月） 岩手県学校教育ICT推進協議会 県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換 県教育研究発表会 市町村教育長・教育委員研究協議会 学力対策向上会議 いじめ防止等対策委員会 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の外部評価会議 市内小中学校長会議（第6回） 学校保健会研究大会 議会議員全員協議会 教育委員会臨時会 第2回遠野市部活動検討委員会 教育研究所運営委員会 遠野市議会3月定例会

月	行 事 名 等
3月	遠野市議会 3月定例会 遠野市議会臨時会 市内中学校卒業証書授与式 市内小学校卒業証書授与式 高校生台湾インターンシップ出発式 遠野市教育委員会定例会（3月） 教職員退職・市外転出者への辞令交付式 新規採用教職員引き渡し式 地域と学校の連携・協働評価委員会 派遣者辞令交付式 退職者辞令交付式

### Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

令和4年度において、遠野市教育委員会は、

- ・第2次 遠野市総合計画 後期基本計画（計画期間：令和3年度～令和7年度）
- ・第2期 遠野市教育振興基本計画（計画期間：平成28年度～令和7年度）

に基づき、教育行政を推進しました。

第2次 遠野市総合計画後期基本計画において教育委員会は、下図に示す2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。

#### 【第2次遠野市総合計画 後期基本計画 体系図】

○ 基本理念 「遠野スタイルの創造・発展」

○ 将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

大綱	政策	施策
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり 2 快適な居住環境の形成 3 道路交通基盤の充実 4 安心安全な地域づくり	
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進 2 医療体制の充実
	2 地域福祉の充実	
	3 子育て支援の推進	1 少子化対策・子育て支援 2 児童・母子等福祉の充実
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農林業の振興 2 商工業の振興 3 観光と交流のまちづくり	
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実 2 学校教育の充実
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実 2 芸術文化活動の推進
	3 ふるさとの文化の継承・創造	1 文化的資料の保存と活用 2 文化財の保護 3 歴史の継承と人づくり
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり 2 行財政基盤の強化 3 行政サービスの向上	



また、第2期 遠野市教育振興基本計画においては、5つの基本方針と、基本方針を推進するための施策の方向及び展開を明確化し、これらに沿って各種の具体的事業を実施し、教育行政を推進しました。

## 【第2期 遠野市教育振興基本計画 体系図】

### ○ 基本理念

「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり」

基本方針	施策の方向	施策の展開
1 ふるさと教育の推進	(1) 就学前教育の充実	①家庭や地域での教育 ②教育・保育の充実
	(2) 学校教育の充実	①教育内容の充実 ②教育環境の充実 ③学校給食の充実 ④学校と家庭、地域との連携の充実
	(3) 高等学校への支援	①魅力ある高校づくり応援事業の推進
2 生涯学習の推進	(1) 社会教育の充実	①総合推進体制の整備 ②家庭や地域教育の充実 ③成人教育の充実 ④高齢者教育の充実 ⑤青少年の健全育成と指導者の養成
	(2) 芸術文化活動の推進	①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興
3 ふるさとの文化の継承・創造	(1) 郷土文化の保存と活用	①博物館活動の推進 ②図書館活動の推進
	(2) 文化財の保護と継承	①文化財調査・保護 ②郷土芸能活動の推進 ③遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進
	(3) 郷土の文化を生かした地域創生	①郷土文化の調査・研究の推進 ②次世代へのふるさと文化の継承 ③市史編さん事業の推進
4 健康づくりの推進	(1) 健康づくり活動の推進	①健康づくり総合プログラムの推進 ②スポーツの振興 ③食育の推進
5 子育て支援の推進	(1) 少子化対策・子育て支援	①少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ②子育て支援の充実

## 【主な事務事業の管理及び執行の状況の点検】

次の表により、令和4年度に実施した主な事務事業を、第2期 遠野市教育振興基本計画に定める「基本方針」「施策の方向」「施策の展開」ごとに区分し、その取組状況、成果及び課題を整理しました。

施策の展開に係る全体総括	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の成果など、総括的事項を記載しています。
課題	「施策の展開」に基づき実施した事務事業全体の課題を記載しています。

事業費名	「令和4年度遠野市一般会計歳入歳出決算書」に記載している事業費の名称を記載しています。	令和4年度 決算額	事務事業の決算額を記載しています。(単位:円)
令和5年度事業所管課	令和5年度における当該事務事業を所管する課の名称を記載しています。		
取組状況	事務事業の概要、取組状況等を記載しています。		評価 ※
成果	事務事業の実施による成果を記載しています。 (具体的な数値等による成果がある場合は、その内容についても記載しています。)		

## 【主な事務事業の管理及び執行の状況の評価】

担当課において、各事務事業の取組の成果について、下記により自己評価を行い、その結果(「達成」「概ね達成」「未達成」の3つの区分のうち、該当する区分)を、前表の「評価」欄(※)に記載しています。

区分	担当課による自己評価の判断
達成	事務事業の目的が十分に達成されたと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が100パーセント以上となる場合
概ね達成	事務事業の目的が概ね達成されたと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント以上100パーセント未満となる場合
未達成	課題が生じた等の理由により、事務事業の目的が概ね達成されたとまではいえないと考えられる場合 ※ 計画及び実績を数値により示すことができる場合は、その達成率が90パーセント未満となる場合

※ まちづくり指標の設定がある場合は、その結果を評価欄に記載しています。

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(1) 就学前教育の充実
施策の展開	② 教育・保育の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>臨床心理士による出張相談・施設支援、療育教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）・幼児ことばの教室の運営、難聴児補聴器購入助成、日中一時支援事業及び放課後等デイサービス事業の利用者負担助成、特別支援学校スクールバス運行事業等を実施し、障がいがあり特別な支援を必要とする子どもとその保護者に対する福祉の向上を図った。</p> <p>また、保育所等を利用する3歳～5歳児に係る副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助、保育所13カ所の運営委託、認定こども園1カ所、幼稚園1カ所の運営費負担、延長保育や一時保育等の特別保育の実施、社会福祉法人への運営費補助を行い、就学前教育・保育環境の充実を図った。</p>
課題	<p>特別な支援が必要な児童とその保護者への支援体制の充実を図るため、療育教室、幼児ことばの教室、難聴児補聴器購入助成等の事業を着実に推進するとともに、臨床心理士による出張心理相談の実施や小学校への就学に伴う円滑な接続について関係機関との連携を強化する。</p> <p>幼児教育・保育無償化に伴う副食費の助成、保育の必要性がある教育認定子どもの利用料補助を着実に推進し、就学前教育と保育環境の充実を図る。</p>

事業費名	わらすっこの療育支援事業費	令和4年度 決算額	46,703,403円												
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課														
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>心身において発達支援が必要と認められる児童に対し、個別プログラムを取り入れた療育教室を開催する。</li> <li>発音等ことばの発達が気になる幼児に対し、就学前にことばの教室を開催する。</li> <li>軽度・中等度の難聴児に対する補聴器の購入について一部助成を行う。</li> <li>障害児通所支援事業所に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費を支給する。</li> <li>日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、その自己負担分を助成する。</li> <li>市外特別支援学校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の負担軽減を図る。</li> </ol> <p>【計画値】</p> <table border="0"> <tr> <td>① 療育教室</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>② 幼児ことばの教室</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>③ 軽度・中等度難聴児補聴器助成</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>④ 障害児通所給付費対象者延べ人数</td> <td>330人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 日中一時支援事業等利用者負担助成</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>⑥ 特別支援学校スクールバス利用</td> <td>7人</td> </tr> </table>	① 療育教室	15人	② 幼児ことばの教室	10人	③ 軽度・中等度難聴児補聴器助成	2件	④ 障害児通所給付費対象者延べ人数	330人	⑤ 日中一時支援事業等利用者負担助成	20人	⑥ 特別支援学校スクールバス利用	7人	評価	達成
① 療育教室	15人														
② 幼児ことばの教室	10人														
③ 軽度・中等度難聴児補聴器助成	2件														
④ 障害児通所給付費対象者延べ人数	330人														
⑤ 日中一時支援事業等利用者負担助成	20人														
⑥ 特別支援学校スクールバス利用	7人														
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>発達支援が必要である児童に対し、個別プログラム及び臨床心理士からの助言により療育教室を開催し、個々の特性に応じた適切な支援及び指導を行うとともに、その保護者への子育て支援を行った。</li> <li>発音や吃音などのことばの発達が気になる年長児に対して、幼児ことばの教室を開催し、就学後の生活が円滑に進むよう指導を行った。</li> <li>軽度・中等度の難聴児に対する補聴器の購入費の一部を助成し、対象児童の家庭及び学校生活における聞き取り能力の向上に寄与した。</li> </ol>														

取組・成果	<p>4 放課後等デイサービス事業者に対し、サービスの提供実績に基づき障害児通所給付費を支給した。</p> <p>5 日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業を利用した小学生又は特別支援学校小学部児童の保護者に対し、利用者自己負担分を助成し経済的負担を軽減した。</p> <p>6 花巻清風支援学校本校の寄宿舎で生活する生徒の交通手段として、スクールバスを運行し、保護者の送迎に係る負担軽減に寄与した。</p>
	<p><b>【実績値】</b></p> <p>① 療育教室 11人</p> <p>② 幼児ことばの教室 12人</p> <p>③ 軽度・中等度難聴児補聴器助成 2件</p> <p>④ 障害児通所給付費対象者延べ人数 348人</p> <p>⑤ 日中一時支援事業等利用者負担助成 22人</p> <p>⑥ 特別支援学校スクールバス利用 8人</p>

事業費名	保育所等運営事業費（保育所運営委託）	令和4年度 決算額	950,238,380円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>1 ライフワークが多様化するなか、保護者の就労や出産等の理由により、保育施設の利用を希望する子育て世代が増加していることから、市内の児童が利用する教育・保育施設の運営費を国の定める基準により負担することで、安心して子育てができる環境を提供し、もって児童の健全な育成を図ることを目的とする。</p> <p>2 幼児教育・保育の無償化に併せ3歳以上児への副食費の助成を行い、保護者の経済的負担と保育施設職員の業務負担の軽減を図る。</p> <p>3 1号認定の預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料の給付を行う。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所定員 640人</li> <li>・認定こども園定員 99人</li> <li>・合計 739人</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 市内居住者が利用する保育所や認定こども園等の教育・保育施設に対して運営費負担を行い、保護者と子どもが安心できる保育環境を提供し、児童の健全な育成に努めた。</p> <p><b>【年度末市内保育施設入所児童数（定員に対する充足率）】</b></p> <p>遠野 81人（101.3%）、神明 46人（92.0%）、綾織 44人（88.0%）、岩滝 21人（105.0%）、附馬牛27人（90.0%）、白岩 90人（100.0%）、松崎 40人（80.0%）、土淵 46人（92.0%）、青笹 78人（97.5%）、上郷 49人（98.0%）、宮守 40人（100.0%）、達曾部24人（80.0%）、鱒沢 9人（45.0%）、聖光 85人（85.9%） 合計 680人（94.6%）</p> <p>2 幼児教育・保育の無償化制度において国の免除対象とならない3～5歳児の副食費（おかず代・おやつ代）を助成し、保護者の経済的負担と保育施設職員の事務負担の軽減を図った。</p> <p>3 預かり保育事業を利用する児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して利用料を補助し、保護者の負担を軽減する事業だが、令和4年度の利用はなかった。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <p>[年齢別入所児童数] 合計 680人 0歳児 93人、1歳児 99人、2歳児107人、3歳児137人、4歳児124人、5歳児120人</p> <p>[副食費助成対象児童数] 延べ 3,353人</p> <p>[施設等利用給付数] 0人</p>			

事業費名	保育所等運営事業費（保育所設置者運営）	令和4年度 決算額	62,494,435円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>地域の実情や子育て世代における生活・就労形態の多様化に応じた保育サービスを提供するため、特別保育事業として「障害児保育事業」、「保育所地域活動事業」、「地域子育て支援拠点事業」、「延長保育事業」、「一時預かり事業」の実施を市内保育施設運営事業者に委託するとともに、保育所の円滑な運営を図るため、社会福祉法人事業所に対し運営費等を補助する。</p> <p>従業員のために事業所内に保育施設を設置する事業者に対して、管理運営に要する費用を助成し、保育環境の充実を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別保育事業 4事業</li> <li>・地域子育て支援センター 1か所</li> <li>・運営費補助 1件</li> <li>・企業内託児保育施設助成 1件</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 生活・就労形態の多様化に応じた特別保育事業を実施し子育て環境の充実を図った。</p> <p>(1) 特別保育事業 4,945,920円</p> <p>(2) 地域子育て支援拠点事業（利用者延べ人数1,893人） 8,648,135円</p> <p>(3) 令和3年度子ども・子育て支援交付金返還金 608,000円</p> <p>(4) 令和3年度重層的支援体制整備事業交付金返還金 210,000円</p> <p>(5) 令和3年度（令和2年度繰越分）保育対策総合支援事業費補助金（保育環境改善事業等返還金） 190,000円</p> <p>2 社会福祉法人遠野市保育協会に対して運営費補助金を交付し、保育の安定的な運営を推進した。 47,392,380円</p> <p>3 企業内託児保育施設設置者に対して管理運営に要する経費の一部を助成し、職場の子育て環境の充実を図った。 500,000円</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別保育事業 4事業</li> <li>・地域子育て支援センター 1か所</li> <li>・運営費補助 1件</li> <li>・企業内託児保育施設助成 1件</li> </ul>			

事業費名	幼稚園応援事業費	令和4年度 決算額	34,743,194円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>1 私立幼稚園を運営する法人に対し、幼児教育の振興及び円滑な経営を図るため運営費の給付を行う。</p> <p>2 令和元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化に併せ、保護者負担となる副食費の助成を行い、保護者の経済的負担と保育施設職員の業務負担の軽減を図る。</p> <p>3 預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料の給付を行う。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内私立幼稚園 1園</li> <li>・幼稚園定員 35人</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 私立幼稚園の運営費を負担することによって、充実した幼児教育環境の提供及び園の円滑な運営を支援した。</p> <p>2 国の免除対象とならない満3歳～5歳児の副食費（おかず代及びおやつ代）を助成し、保護者の経済的な負担を軽減した。</p> <p>3 預かり保育事業を利用した児童のうち、「保育の必要性」がある世帯に対して、無償化の上限額の範囲内で利用料の助成を行った。</p> <p>【実績値】</p> <p>[年齢別入所児童数] 満3歳児7人、3歳児8人、4歳児14人、5歳児6人、合計 35人</p> <p>[副食費助成児童数] 延べ 284人</p> <p>[施設等利用給付] 19人</p>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	① 教育内容の充実

<p>施策の展開に係る 全体総括</p>	<p>令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況の中、感染対策を行いながら、学校、家庭、地域、関係機関等が連携、協力しながら、教育活動の継続により学びの保障に取り組んできた。</p> <p>遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成 ～ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成～」の目標達成に向け、次の5つの項目「①学校経営の質的向上、②確かな学力の育成、③豊かな人間性の育成、④健やかな体の育成、⑤特別支援教育の充実」に重点を置き、施策の展開を図ってきた。</p> <p>① 令和4年度からスタートした学校運営協議会制度により、地域人材及び地域資源を教育活動に取り入れ、地域とともにある学校づくりに努め学校経営の質的向上を図った。</p> <p>② 教育研究所が平成25年度年から実施している各中学校区の小中学校が同じ視点で授業改善に取り組み、その成果と課題を共有するという小中連携による第2次学力向上取組(R2～R4)も後期3年目の最終年度を迎え、学力検査の結果活用による的確な実態把握により、個の能力や習熟度に応じた指導の充実や、教職員の指導力向上による学力の向上に努めた。</p> <p>③ 一人ひとりの互いの良さを認め合える学校、学級づくりに努めるとともに、学校行事における体験活動など、あらゆる教育活動を通して豊かな心を育む教育を推進した。</p> <p>④ 学校及び家庭の協力を得て感染症対策の徹底を継続するとともに、児童生徒の健康の保持増進と体力向上の推進に努めた。部活動については、部活動の基本方針に基づいた活動となるよう支援するとともに、部活動検討委員会により、部活動の在り方や地域移行について検討を行った。</p> <p>⑤ インクルーシブ教育の理念に基づき合理的配慮が必要な子どもたちの発達特性の把握に努めるとともに、保護者との教育相談の充実を図り、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育を進めることができるよう指導や支援を行った。</p>
<p>課題</p>	<p>遠野市総合計画後期基本計画の「まちづくり指標」としている全国標準学力検査について、令和4年4月に実施した小学校全国標準学力検査の結果、まちづくり指標は概ね達成（※小学校標準学力検査偏差値達成率：95%、中学校標準学力検査偏差値達成率：98.6%）したものの目標値を下回る状況となっている。</p> <p>令和5年度以降については、学力検査等の分析結果の活用や児童個々の学力の実態把握に努め、習熟度に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基にしたPDCAサイクルによる授業改善やICT端末を活用した個別学習や放課後学習教室等による家庭学習の習慣化を図ることにより、児童生徒の学力の向上を図っていく必要がある。</p> <p>また、不登校対策について、市役所東館庁舎に設置している適応指導教室に加え、東中学校区及び西中学校区にジョイントスクールの設置を検討し、専任指導員による学習支援や通級している児童生徒の段階的な学校復帰に向けた支援を検討していく必要がある。</p> <p>部活動の地域移行については、教職員の働き方改革を含め実態に即した部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行を検討する必要がある。</p>

事業費名	体育・文化行事奨励費	令和4年度 決算額	5,614,700円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知・徳」に位置付けて実施する事業。</p> <p>次代を担う児童・生徒に対し、「ふるさと遠野」のよき、自分の将来や地域の未来について考える機会をつくり、文章に表現することや読むことを通して、言語能力を養い豊かな人間性を育むことを目的に、遠野市内小中学校児童・生徒文集「遠野」を発刊する。</p> <p>文化創造活動の能力を育み、もって豊かな情操を養うことを目的に遠野市内小中学校児童生徒作品展を開催する。</p> <p>体育活動及び文化活動の振興を通して市内小中学校の児童生徒の健全な育成を図る事業を行う団体に対して補助金を交付する。</p> <p>地方公共団体等が主催する各種大会（県、東北、全国）に児童生徒が出場するために要する経費の一部について助成を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 児童生徒作品展の開催 1回</p> <p>2 児童生徒文集の発刊 250冊</p> <p>3 事業補助団体 4団体</p>		評価	達成
取組・成果	<p>小中学校児童生徒文集「遠野」の発刊や小中学校児童生徒作品展の文化事業を実施することにより、芸術に親しみながら感性や表現力を高めるとともに、作品制作を通して目標に向い努力する心と向上心を養う取組ができた。</p> <p>市立小・中学校の児童生徒を対象とした体育活動及び文化活動の事業を実施する団体に対し、補助金を交付することにより、児童生徒の健全な育成を図ることができた。</p> <p>令和4年度においても様々な体育行事や文化行事で、各小中学校の児童生徒が活躍する機会が多く見受けられた。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、市内小学校水泳記録会は中止となったが、陸上記録会、音楽祭、地区中学校総合体育大会や総合文化祭は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施することができた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 児童生徒作品展の開催 1回</p> <p>2 児童生徒文集の発刊 250冊</p> <p>3 事業補助団体 4団体（小体協、小音協、中体連、中文連）</p>			

事業費名	令和・南部藩寺子屋交流事業費	令和4年度 決算額	0円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。</p> <p>昭和62年に「たくましく生活を切り開く遠野人」の育成を目指して事業を開始し、平成18年からは平成18年2月16日に設立された「平成・南部藩」事業の一つとして事業を継続している。「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する。</p> <p>根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市児童との交流の中で、日常生活と異なる集団生活を通じて、コミュニケーション能力等を高め、リーダー性を向上させるとともに、「遠野市」を学び伝え、八戸市の歴史や文化の学びから「遠野市」を振り返り、郷土の歴史や自然のよさについて見つけ直すことを通して、郷土を愛する心や態度を育て、遠野市の将来を担う人材の育成を目指していく。</p> <p>楽しいだけの交流で終わることなく、学んだことをこれからの学校生活で発揮できる交流内容とする。</p>		評価	未達成
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、八戸市教育委員会と協議の上、事業を中止とした。</p>			

事業費名	魅力ある学校づくり事業費	令和4年度 決算額	1,659,122円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。</p> <p>1 魅力ある学校づくり事業 市内各小中学校において、それぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域人材及び地域資源を積極的に取り入れることにより、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験や伝統芸能の継承など地域理解学習に努め、魅力ある学校づくりの実現に取り組む。</p> <p>2 遠野わらすっこ「夢の教室」事業 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、その他OB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p> <p>【計画値】</p> <p>1 実施学校数 14校 2 実施校数 小学校6校、実施回数 小学校8回</p>		評価	達成
取組・成果	<p>1 魅力ある学校づくり事業 市内各小中学校でそれぞれ企画・立案した事業計画により、地域の人材を講師として、郷土芸能や語り部等の学習や農業体験等、地域ならではの学習が実施され、特色ある教育活動を展開することにより、地域と学校に魅力を感じる児童生徒を育成することができた。</p> <p>また、事業を通じて、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで、児童生徒のふるさとへの愛着と誇りを持つ心が育まれるとともに、地域に開かれた学校づくりの一助となった。</p> <p>2 遠野わらすっこ「夢の教室」事業 各小学校では、「夢の教室」をキャリア教育の一環と位置付け、児童が自分の将来について考えるきっかけづくりの一つとなるよう取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、夢先生を各学校へ派遣して実施する対面式から、学校と日本サッカー協会を「WEB会議システム」で結んで行うオンライン方式により実施した。</p> <p>夢や目標を持つこと、夢に向かって努力することの大切さや相手を思いやる心を事業を通じて学ぶことができた。</p> <p>児童及び担任の先生を対象に実施したアンケートからも夢や目標に向かって、前向きな気持ちを持つ児童が増えている結果が見受けられた。</p> <p>【実績値】</p> <p>1 実施学校数 14校 2 実施校数 小学校6校、実施回数 小学校8回</p>			

事業費名	特別支援教育推進事業費	令和4年度 決算額	23,757,509円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。</p> <p>市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を各小中学校に配置する。</p> <p>ことばの指導が必要な児童のため、巡回指導を実施する学習指導講師を配置し、学習指導並びに要支援児童生徒に対する指導の充実を図る。</p> <p>【計画値】・特別支援教育支援員の配置 19名 (小学校10校 14人、中学校3校 5人) ・学習指導講師の配置 1名 (巡回指導数7校 18人)</p>		評価	達成



取組・成果	<p>学校生活上の介助、学習指導上の支援等を行う特別支援教育支援員を各小中学校に配置することにより、児童生徒の学習や生活面において、個々の特性に応じた適切な指導と必要な支援を行うことができた。</p> <p>言語検査の結果により、ことばの指導が必要な児童を対象として学習指導講師の巡回指導による、適切な「ことば」の指導が実施され、児童8人がことばの教室を退級することができた。</p> <p>補聴器や人工内耳を装用しても騒音下での聞き取りが難しい児童がいる学校にロジャータッチスクリーンマイク（補聴援助システム）を貸与することにより、安心して授業を受けることができる環境づくりに努めた。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育支援員の配置 19名（小学校10校 14人、中学校3校 5人）</li> <li>・学習指導講師の配置 1名（巡回指導数7校 18人）</li> </ul>
-------	--

事業費名	特定教科集中対策事業費	令和4年度 決算額	19,519,836円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知」に関する事業。</p> <p>1 特定教科学習支援員の配置 市内中学校に、特定教科学習支援員を配置し、教育委員会が指定する特定教科（数学科）について、ティームティーチング又は個別指導等の充実による学力の向上を目指す。</p> <p>2 外国語教育の充実 小中学生における外国語教育の充実及びグローバル化に対応した教育施策の一環として外国語指導助手を配置することにより、生きた英語に接する機会を提供し、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の基礎を育む。</p> <p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、英語4技能を総合的に育成することができるよう小中学校で一貫した外国語教育を実施する。</p> <p>遠野市立中学校に在籍する生徒を対象に、目標・目的意識を持って英語の学習に取り組む環境を提供し、英語に対する学習意欲の向上を図るとともに外国語教育の充実の強化を図る。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定教科学習支援員の配置 4人</li> <li>・外国語指導助手派遣学校数 14校</li> <li>・外国語指導助手派遣回数 570回</li> <li>・実用英語検定受験者（中学3年生） 183人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 教育委員会が指定する特定教科の数学科について、特定教科学習支援員を配置し、授業においてティーム・ティーチングや家庭学習支援を行うことで、生徒一人ひとりの実態に応じた指導・支援を実施した。</p> <p>2 外国語教育については、教員の確保や指導力向上だけでは十分対応することができない部分に外国語指導助手を活用し、外国語の授業に係る取組の充実を図ることができた。</p> <p>中学校区を中心に外国語指導助手を配置したことにより、小中学校の外国語教育をつなぐ役割を果たし、児童生徒が安心してコミュニケーション活動に取り組めるようになった。「読む、書く、聞く、話す」の英語の4技能をバランスよく伸ばし生きた英語を身に付けることができるよう、英語検定合格に向けた対策講座の実施や受験費用を補助することにより、目標・目的意識を持って英語の学習に取り組む環境を提供し、英語に対する学習意欲及び英語力の向上を図ることができた。</p> <p>また、英検I B Aの受験により、生徒個々が学力を把握することができ学習の目標づくりや教員の指導の充実に資することができた。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定教科学習支援員の配置 2人</li> <li>・外国語指導助手派遣学校数 14校</li> <li>・外国語指導助手派遣回数 549回</li> <li>・実用英語検定受験者（中学3年生） 154人</li> </ul>			

事業費名	学力向上対策事業費	令和4年度 決算額	18,842,917円																														
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課																																
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。</p> <p>1 学力向上対策 市内小中学生を対象として、GIGAスクール構想により導入された学習用パーソナルコンピュータ等の効果的な活用や標準学力検査（NRT）及び知能検査等の諸調査の分析結果を活用し、より適切な指導を進めることにより学力向上を図る。 中学校区単位で小中学校が連携し、研究及び研修の充実を図るとともに指導主事等の学校訪問による授業力の向上に努め、児童生徒の確かな学力の育成を図る。</p> <p>2 教育相談 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置し、様々な理由で学校に通うことができない児童生徒を対象に、教育相談や学習指導を行う適応指導教室を開設する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</li> <li>教育研究所全体研修会及び発表会の開催 2回</li> <li>授業実践交流会の実施 3校で各1回</li> <li>教育相談員の配置 4名</li> </ul>	評価	概ね達成																														
取組・成果	<p>1 標準学力検査及び知能検査により、個々の学力の実態を把握し、年間を通じて、児童生徒個々の実態に応じた学習支援及び指導の充実を図った。 遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基にPDCAサイクルによる授業改善と、アシストシートやICT端末を活用した個別最適化された家庭学習の取組の充実を図るとともに、学校の組織的な取組の支援を推進することにより、児童生徒の確かな学力向上を図った。 まちづくり指標に設定している全国標準学力検査偏差値において、小中学校とも目標値を概ね達成することができた。 遠野市教育研究所主催の各種事業・研修会を通じて、教員の指導力及び授業力向上に取り組んだ。</p> <p>2 遠野市教育研究所及び各中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めるとともに、中学校の教員への支援を行った。 また、適応指導教室を市役所東館庁舎に設置し、登校が困難な生徒に対して学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。 不登校対策やいじめ防止等の生徒指導上の対応については、各学校における教育相談体制や生徒指導体制の強化に努めるとともに、スクールカウンセラー等の専門家の活用を促しながら、児童生徒個々の状況や抱えている課題に対応した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</li> <li>教育研究所全体研修会及び発表会の開催 1回 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、教育研究所全体研修会は中止。</li> <li>授業実践交流会の実施 3校で各1回</li> <li>教育相談員の配置 4名</li> </ul> <p>①全国標準学力調査において「まちづくり指標（第2次遠野市総合計画（後期基本計画）」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>まちづくり指標</th> <th>R01</th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校標準学力検査偏差値</td> <td>53.9</td> <td>53.9</td> <td>52.1</td> <td>52.1</td> <td>52.2</td> </tr> <tr> <td>(実数値)</td> <td>51.2</td> <td>50.8</td> <td>50.1</td> <td>49.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校標準学力検査偏差値</td> <td>48.6</td> <td>48.6</td> <td>48.8</td> <td>48.8</td> <td>48.9</td> </tr> <tr> <td>(実数値)</td> <td>48.8</td> <td>47.8</td> <td>48.6</td> <td>48.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※小学校標準学力検査偏差値達成率：95%、中学校標準学力検査偏差値達成率：98.6%</p>	まちづくり指標	R01	R02	R03	R04	R05	小学校標準学力検査偏差値	53.9	53.9	52.1	52.1	52.2	(実数値)	51.2	50.8	50.1	49.5		中学校標準学力検査偏差値	48.6	48.6	48.8	48.8	48.9	(実数値)	48.8	47.8	48.6	48.1			
まちづくり指標	R01	R02	R03	R04	R05																												
小学校標準学力検査偏差値	53.9	53.9	52.1	52.1	52.2																												
(実数値)	51.2	50.8	50.1	49.5																													
中学校標準学力検査偏差値	48.6	48.6	48.8	48.8	48.9																												
(実数値)	48.8	47.8	48.6	48.1																													

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	② 教育環境の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>質の高い教育環境で学ぶことができるよう、教材備品や図書の実充を図ったほか、GIGAスクール構想で導入した一人一台端末の有効活用を図るため、長期休業中等の持ち帰り学習が可能となるよう一人一台端末の充電器を購入した。</p> <p>小友小学校と達曽部小学校においては、屋内運動場の長寿命化改修工事を実施したほか、遠野北小学校の老朽化した児童用木製机椅子の更新を行い、子ども達が快適に学べる環境を整備した。</p> <p>安心安全な学校環境となるよう、学校敷地内の老木や高木等危険性の高い樹木の伐採を行ったほか、学校敷地内の安全対策を行った。</p> <p>通学対策として、スクールバス運行等を実施したほか、老朽化したスクールバス1台を更新し通学時の安全確保を図った。</p> <p>経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対する就学援助費の支給や特別支援教育への支援を行い、児童生徒の学びを保障し義務教育の円滑な実施を図った。</p>
課題	<p>GIGAスクール構想により整備した端末の一層の活用を進めるとともに、使用する教職員の負担を軽減する必要がある。</p> <p>建築後相当の年数が経過している学校施設等については、引き続き施設の維持補修を行うとともに、学校施設長寿命化計画に基づいた改修・長寿命化を進め、児童・生徒が安心安全な学校生活を送ることができるように教育環境の整備を行なう必要がある。</p>

事業費名	小学校管理費	令和4年度 決算額	105,502,790円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>児童が安心安全に学習できる環境を維持するため、市内11校の学校施設の適正な管理を行う。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備点検等委託 23件</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>学校施設を適正に管理するため、学校施設点検を実施し、施設の修繕箇所及び学校の修繕要望等を確認し、予算の範囲内で着実な施設修繕を行った。</p> <p>施設、設備等の突発的な破損等に対して迅速に対応するとともに、専門業者による各種設備点検業務等を委託し、施設の適正な管理を行った。</p> <p>【実績値】※学校施設の主な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕（附馬牛小学校児童用木製椅子修繕ほか33件） 2,156,473円</li> <li>・設備点検等委託（建築物定期報告業務ほか22件） 15,621,844円</li> <li>・工事（達曽部小学校校舎天窓交換工事ほか1件） 1,742,400円</li> </ul>			

事業費名	小学校管理費（繰越明許費）	令和4年度 決算額	16,004,088円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>学校敷地にある倒木などの危険性の高い樹木及び学校運営や近隣の支障となっている樹木のうち、学校用務員において対応が難しいものについて、計画的に伐採等を行う。</p> <p>鱒沢小学校校舎照明器具の安定器に高濃度PCBが使用されていたことから、照明器具の更新工事を行う。</p> <p>また、小学校職員室及び校長室に空調設備を設置し、教職員の執務環境の改善を図る。</p> <p>年度内の工事完了が見込めないため、令和3年度からの繰越事業とした。</p> <p>1 鱒沢小学校（校舎）照明器具LED化工事 工 期 令和3年12月27日から令和4年5月13日まで 工事内容 校舎照明器具のLED化</p> <p>2 市立小学校（職員室・校長室）空調設備設置工事 工 期 令和4年4月12日から令和4年8月12日まで 工事内容 職員室及び校長室の空調設備設置</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支障木伐採等対象校 2校 土淵小学校 16本、附馬牛小学校 12本</li> <li>・照明器具LED化工事 鱒沢小学校</li> <li>・空調設備設置工事 7校 綾織小学校、小友小学校、青笹小学校、上郷小学校、宮守小学校、達曾部小学校、鱒沢小学校</li> </ul>		評価	達成
取組・成果	<p>対象校2校の敷地内にある危険樹木計28本の伐採・剪定を行い、安全安心な学習環境を整備した。</p> <p>なお、樹木の伐採等に当たっては、学校報等を通じて周知を行い、地域との合意形成を図りながら実施した。</p> <p>鱒沢小学校校舎照明器具のLED化工事を行い、児童が快適に学習できる教育環境の整備を図った。</p> <p>また、未整備となっていた職員室及び校長室に空調設備を設置し、教職員の執務環境の改善を図った。</p> <p>1 鱒沢小学校（校舎）照明器具LED化工事 工 期 令和3年12月27日から令和4年5月13日まで 工事費 3,259,300円</p> <p>2 市立小学校（職員室・校長室）空調設備設置工事 工 期 令和4年4月12日から令和4年8月12日まで 工事費 11,000,000円</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支障木伐採等対象校 2校 土淵小学校（伐採5本、剪定11本）、附馬牛小学校（伐採3本、剪定9本）</li> <li>・照明器具LED化工事 鱒沢小学校</li> <li>・空調設備設置工事 7校 綾織小学校、小友小学校、青笹小学校、上郷小学校、宮守小学校、達曾部小学校、鱒沢小学校</li> </ul>			

事業費名	木の温もりに触れる環境づくり事業費	令和4年度 決算額	10,065,000円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>森林環境譲与税を活用し、老朽化の進んでいる児童用の木製机椅子の計画的な更新を行い、木の温もりを感じながら学習活動を行うことができる環境を整備する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備対象校 1校（遠野北小学校 139セット）</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>更新が必要な遠野北小学校の児童用木製机椅子 332セットのうち、139セットの更新を行い、木の温もりが感じられる学習環境を整備した。</p> <p>机椅子の仕様検討に当たっては、学校用務員との打合わせを重ね、使い勝手や日常的なメンテナンス性等について、可能な限り学校現場の意見を取り入れるよう努めた。</p> <p>なお、遠野北小学校の残りの193セットについては、令和5年度事業で更新予定である。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備対象校 1校（遠野北小学校 139セット）</li> </ul>			

事業費名	通学対策費（小学校）	令和4年度 決算額	28,149,839円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離から小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達曾部小、鱒沢小に通学する児童を対象に、スクールバスを運行する。</li> <li>・路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配布する。</li> <li>・青笹小に通学する瀬内地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行する。</li> <li>・遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に通学費の助成を行う。</li> <li>・教育課程等における児童移動のためのスクールバスの特別運行を行う。</li> <li>・スクールバスを計画的に更新し、児童の安全な通学に資する。</li> </ul> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行（バス5台、ワゴン2台、タクシー1台）</li> <li>・遠距離通学費補助金 支給見込児童数 13人</li> <li>・スクールバス特別運行 見込み延べ台数 335台</li> <li>・スクールバス更新 1台</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらスクールバスを運行し、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全確保を図った。</p> <p>また、遠距離通学児童のうち、スクールバス等の利用対象とならない児童に対して遠距離通学費補助金を交付し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事や市主催の各種事業等における児童の送迎のため、スクールバスの特別運行を行い、有効活用を図った。</p> <p>宮守小学校で運行するスクールバス1台を更新し、安全な通学手段を確保した。</p> <p>その他、県補助金を活用し、スクールバス全車両に置き去り防止安全装置の設置を予定していたが、年度内の完了が見込めないことから、翌年度に事業を繰り越した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行（バス5台、ワゴン2台、タクシー1台）</li> <li>・遠距離通学費補助金 支給児童数 9人</li> <li>・スクールバス特別運行 延べ台数 217台</li> <li>・スクールバス更新 1台</li> </ul>			

事業費名	教材整備費（小学校）	令和4年度 決算額	58,057,998円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータ等の借上げを行い、教育環境の整備に資する。また、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び算数に係る教材備品を整備する。</p> <p>【計画値】・教材備品購入 50品目 ・図書購入 1,100冊 ・パーソナルコンピュータ借上 1,742台 ・理科・算数教材備品整備 4校</p>	評価	達成	
取組・成果	<p>教育活動に必要となる教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入を行った。また、国庫補助金を活用して理科・算数教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図った。</p> <p>1人1台の学習用パーソナルコンピュータ等の借上げを行い、ICTを活用した新たな教育環境の充実を図った。</p> <p>【実績値】・教材備品購入 48品目 ・図書購入 1,322冊 ・パーソナルコンピュータ借上げ 1,742台 ・理科・算数教材備品整備 4校</p>			

事業費名	就学援助費（小学校）	令和4年度 決算額	18,391,618円																																																	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課																																																			
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費及び学校病医療費等を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。また、特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、学用品等購入費新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費及び学校給食費を支給し、経済的負担を軽減する。</p> <p>【計画値】 ・認定見込児童数 就学援助費 227人 特別支援教育就学奨励費 24人</p>	評価	達成																																																	
取組・成果	<p>就学援助の認定を受けた児童の保護者、又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対し費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>【就学援助費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（220人）</td> <td>2,510,142円</td> <td>通学用品費（198人）</td> <td>440,378円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（220人）</td> <td>364,889円</td> <td>新入学学用品費（21人）</td> <td>522,540円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（42人）</td> <td>939,755円</td> <td>通学費（5人）</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（4人）</td> <td>1,020円</td> <td>P T A会費（161人）</td> <td>529,400円</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代（42人）</td> <td>398,449円</td> <td>学校病医療費（52人）</td> <td>512,495円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（29人）</td> <td>86,250円</td> <td>学校給食費（219人）</td> <td>9,055,731円</td> </tr> <tr> <td>オンライン学習通信費（101人）</td> <td>460,408円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校入学前（10人）</td> <td>540,600円</td> <td>中学校入学前（24人）</td> <td>1,440,000円</td> </tr> </table> <p>【特別支援教育就学奨励費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品等購入費（18人）</td> <td>101,780円</td> <td>校外活動費（9人）</td> <td>4,015円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（5人）</td> <td>53,542円</td> <td>学校給食費（18人）</td> <td>385,560円</td> </tr> <tr> <td>オンライン学習通信費（3人）</td> <td>4,664円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【実績値】 ・認定児童数 就学援助費 221人 特別支援教育就学奨励費 18人</p>	学用品費（220人）	2,510,142円	通学用品費（198人）	440,378円	校外活動費（220人）	364,889円	新入学学用品費（21人）	522,540円	修学旅行費（42人）	939,755円	通学費（5人）	40,000円	クラブ活動費（4人）	1,020円	P T A会費（161人）	529,400円	卒業アルバム代（42人）	398,449円	学校病医療費（52人）	512,495円	学校病医療通院費（29人）	86,250円	学校給食費（219人）	9,055,731円	オンライン学習通信費（101人）	460,408円			新入学学用品費				小学校入学前（10人）	540,600円	中学校入学前（24人）	1,440,000円	学用品等購入費（18人）	101,780円	校外活動費（9人）	4,015円	修学旅行費（5人）	53,542円	学校給食費（18人）	385,560円	オンライン学習通信費（3人）	4,664円					
学用品費（220人）	2,510,142円	通学用品費（198人）	440,378円																																																	
校外活動費（220人）	364,889円	新入学学用品費（21人）	522,540円																																																	
修学旅行費（42人）	939,755円	通学費（5人）	40,000円																																																	
クラブ活動費（4人）	1,020円	P T A会費（161人）	529,400円																																																	
卒業アルバム代（42人）	398,449円	学校病医療費（52人）	512,495円																																																	
学校病医療通院費（29人）	86,250円	学校給食費（219人）	9,055,731円																																																	
オンライン学習通信費（101人）	460,408円																																																			
新入学学用品費																																																				
小学校入学前（10人）	540,600円	中学校入学前（24人）	1,440,000円																																																	
学用品等購入費（18人）	101,780円	校外活動費（9人）	4,015円																																																	
修学旅行費（5人）	53,542円	学校給食費（18人）	385,560円																																																	
オンライン学習通信費（3人）	4,664円																																																			

事業費名	小学校屋内運動場長寿命化改修事業費（繰越明許費）	令和4年度 決算額	233,846,448円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>老朽化した小学校屋内運動場の長寿命化改修を行い、児童の安心・安全な教育環境を整備し、心身の健康及び学力の向上を図るとともに、改修に伴う備品を購入し、充実した教育環境の整備を図る。</p> <p>年度内の事業完了が見込めないため、令和3年度からの繰越事業とした。</p> <p>○事業概要</p> <p>1 小友小学校屋内運動場長寿命化改修工事 工 期 令和4年4月12日から令和4年10月14日まで 工事内容 内部改修（天井・床・壁改修、照明LED化） 外部改修（屋根・外壁改修、躯体ひび割れ補修） 外構改修（暗渠排水設置） トイレ改修（多目的トイレ新設、洗面所改修）</p> <p>2 達曽部小学校屋内運動場長寿命化改修工事 工 期 令和4年4月12日から令和4年10月14日まで 工事内容 内部改修（天井・床・壁改修、照明LED化） 外部改修（屋根・外壁改修、躯体ひび割れ補修） 外構改修（屋内運動場東側舗装、スロープ設置） トイレ改修（多目的トイレ新設、洗面所改修）</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小友小学校屋内運動場 長寿命化改修工事 一式、工事監理業務 一式、 備品購入 23品目</li> <li>・達曽部小学校屋内運動場 長寿命化改修工事 一式、工事監理業務 一式 備品購入 10品目</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>屋内運動場の長寿命化改修工事を実施し、施設の環境改善を図り、併せて施設の長寿命化を実現した。学校の要望を取り入れ、省エネルギー及びバリアフリーに配慮するとともに、教育活動に必要となる備品を購入し、児童が安心して活動できる教育環境の整備を図った。</p> <p>○実施内容</p> <p>1 小友小学校屋内運動場長寿命化改修工事 建築工事 工 期 令和4年4月12日から令和4年10月14日まで 工事費 80,813,700円 電気設備工事 工 期 令和4年4月12日から令和4年10月14日まで 工事費 13,495,900円 工事監理業務 期 間 令和4年4月22日から令和4年10月28日まで 委託料 2,640,000円</p> <p>2 達曽部小学校屋内運動場長寿命化改修工事 建築工事 工 期 令和4年4月27日から令和4年10月14日まで 工事費 112,623,500円 電気設備工事 工 期 令和4年4月12日から令和4年10月14日まで 工事費 14,271,400円 工事監理業務 期 間 令和4年5月12日から令和4年10月28日まで 委託料 2,805,000円</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小友小学校屋内運動場 長寿命化改修工事 一式、工事監理業務 一式、備品購入 33品目</li> <li>・達曽部小学校屋内運動場 長寿命化改修工事 一式、工事監理業務 一式、備品購入 15品目</li> </ul>			

事業費名	小学校校舎長寿命化改修事業費	令和4年度 決算額	14,960,000円		
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課				
事業内容	老朽化が進んでいる小友小学校校舎の長寿命化改修工事に向けた実施設計を行う。 【計画値】 ・小友小学校 長寿命化改修実施設計業務 一式	評価	達成		
取組・成果	省エネルギー及びバリアフリーに配慮し、学校の要望を取り入れた使用しやすい設計とした。 ○実施内容 小友小学校校舎長寿命化改修実施設計業務 期 間 令和4年5月30日から令和4年12月16日まで 委託料 14,960,000円 【実績値】 ・小友小学校 長寿命化改修実施設計業務 一式				

事業費名	中学校管理費	令和4年度 決算額	44,639,680円		
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課				
事業内容	生徒が安心安全に学習できる環境を維持するため、市内3校の学校施設の適正な管理を行う。 【計画値】 ・設備点検等委託 20件	評価	達成		
取組・成果	学校施設を適正に管理するため、学校施設点検を実施し、施設の修繕箇所及び学校の修繕要望等を確認し、予算の範囲内で着実な施設修繕を行った。 施設、設備等の突発的な破損等に対して迅速に対応するとともに、専門業者による各種設備点検業務等を委託し、施設の適正な管理を行った。 【実績値】 ・修繕（遠野中学校集中総合盤UPS本体バッテリー修繕ほか20件） 1,480,907円 ・設備点検等委託（建築物定期報告業務ほか20件） 5,424,146円				

事業費名	中学校管理費（繰越明許費）	令和4年度 決算額	1,445,212円		
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課				
事業内容	学校敷地にある倒木などの危険性の高い樹木及び学校運営や近隣の支障となっている樹木のうち、学校用務員において対応が難しいものについて、計画的に伐採等を行う。 【計画値】 ・支障木伐採等対象校 1校（遠野東中学校 8本）	評価	達成		
取組・成果	遠野東中学校の敷地内にある危険樹木計10本の伐採・剪定を行い、安全安心な学習環境を整備した。なお、樹木の伐採等に当たっては、学校報等を通じて周知を行い、地域との合意形成を図りながら実施した。 【実績値】 ・支障木伐採等対象校 1校（遠野東中学校 10本）				



事業費名	通学対策費（中学校）	令和4年度 決算額	50,081,972円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠距離から通学する次の生徒を対象に、スクールバスを運行する。 遠野中の生徒のうち、綾織小及び附馬牛小の区域の生徒 遠野東中の生徒のうち、土淵小及び上郷小の区域の生徒 遠野西中の生徒のうち、小友小、達曾部小及び鱒沢小の区域の生徒</li> <li>教育課程等における生徒移動のため、スクールバスの特別運行を行う。</li> </ul> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス等の運行 (遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台)</li> <li>スクールバス特別運行 見込のベ台数 270台</li> </ul>		評価	達成
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらスクールバスを運行し、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全確保を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバスの特別運行を行い、有効活用を図った。</p> <p>その他、県補助金を活用し、スクールバス全車両に置き去り防止安全装置の設置を予定していたが、年度内の完了が見込めないことから、翌年度に事業を繰り越した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバス等の運行 (遠野中6台、遠野東中6台、遠野西中6台)</li> <li>スクールバス特別運行 のベ台数 157台</li> </ul>			

事業費名	教材整備費（中学校）	令和4年度 決算額	22,533,867円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータ等の借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、実験観察等を通じた効果的な教育活動に資するため、理科及び数学に係る教材備品を整備する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材備品購入 24品目</li> <li>図書購入 600冊</li> <li>パーソナルコンピュータ借上げ 888台</li> <li>理科・数学教材備品整備 3校</li> </ul>		評価	達成
取組・成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入を行った。</p> <p>また、国庫補助金を活用して理科・数学教材備品を整備し、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図った。</p> <p>1人1台の学習用パーソナルコンピュータ等の借上げを行い、ICTを活用した新たな教育環境の充実を図った。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材備品購入 18品目</li> <li>図書購入 745冊</li> <li>パーソナルコンピュータ借上げ 888台</li> <li>理科・数学教材備品整備 3校</li> </ul>			

事業費名	就学援助費（中学校）	令和4年度 決算額	14,166,800円																																					
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課																																							
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費及び学校病医療費等を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>また、特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、学用品等購入費、新入学学用品費、校外活動費、修学旅行費及び学校給食費を支給し、経済的負担を軽減する。</p> <p>【計画値】</p> <p>認定見込生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費 102人</li> <li>・特別支援教育就学奨励費 18人</li> </ul>		評価	達成																																				
取組・成果	<p>就学援助の認定を受けた生徒の保護者、又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対し費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>【就学援助費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（102人）</td> <td>2,291,942円</td> <td>通学用品費（71人）</td> <td>158,521円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（102人）</td> <td>384,801円</td> <td>新入学学用品費（15人）</td> <td>900,000円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（32人）</td> <td>2,246,020円</td> <td>クラブ活動費（96人）</td> <td>1,689,929円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費（100人）</td> <td>216,000円</td> <td>P T A会費（92人）</td> <td>240,600円</td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代（34人）</td> <td>299,200円</td> <td>学校病医療費（17人）</td> <td>177,370円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（8人）</td> <td>12,630円</td> <td>学校給食費（101人）</td> <td>4,869,801円</td> </tr> </table> <p>【特別支援教育就学奨励費】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品等購入費（12人）</td> <td>132,530円</td> <td>新入学学用品費（7人）</td> <td>202,930円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（8人）</td> <td>12,841円</td> <td>修学旅行費（2人）</td> <td>55,860円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（11人）</td> <td>275,825円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【実績値】</p> <p>認定生徒数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費 103人</li> <li>・特別支援教育就学奨励費 12人</li> </ul>				学用品費（102人）	2,291,942円	通学用品費（71人）	158,521円	校外活動費（102人）	384,801円	新入学学用品費（15人）	900,000円	修学旅行費（32人）	2,246,020円	クラブ活動費（96人）	1,689,929円	生徒会費（100人）	216,000円	P T A会費（92人）	240,600円	卒業アルバム代（34人）	299,200円	学校病医療費（17人）	177,370円	学校病医療通院費（8人）	12,630円	学校給食費（101人）	4,869,801円	学用品等購入費（12人）	132,530円	新入学学用品費（7人）	202,930円	校外活動費（8人）	12,841円	修学旅行費（2人）	55,860円	学校給食費（11人）	275,825円		
学用品費（102人）	2,291,942円	通学用品費（71人）	158,521円																																					
校外活動費（102人）	384,801円	新入学学用品費（15人）	900,000円																																					
修学旅行費（32人）	2,246,020円	クラブ活動費（96人）	1,689,929円																																					
生徒会費（100人）	216,000円	P T A会費（92人）	240,600円																																					
卒業アルバム代（34人）	299,200円	学校病医療費（17人）	177,370円																																					
学校病医療通院費（8人）	12,630円	学校給食費（101人）	4,869,801円																																					
学用品等購入費（12人）	132,530円	新入学学用品費（7人）	202,930円																																					
校外活動費（8人）	12,841円	修学旅行費（2人）	55,860円																																					
学校給食費（11人）	275,825円																																							

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【小中学校感染症予防対策消耗品等購入】	令和4年度 決算額	19,761,299円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>児童生徒が安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続するため、国の補助を活用して消耗品及び備品の購入を行う。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品購入、備品購入 64品</li> </ul>		評価	達成
取組・成果	<p>各学校に予算を配当し、必要とする消耗品及び備品の購入を行い、感染症予防対策を図りながら教育活動を継続することができた。</p> <p>また、夏休みの開始に合わせ、G I G Aスクール用タブレットパソコン充電器計1,816台（予備含む）を市内全小中学校に配布し、コロナ禍における児童生徒の持ち帰り学習を支援した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品購入、備品購入 224品</li> </ul>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【スクール・サポート・スタッフ配置】	令和4年度 決算額	17,159,803円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>新型コロナウイルス感染症対策により増加している教員の業務を支援し、教員が一層児童生徒への指導等に注力できる体制を整備するため、学校に遠野市新型コロナウイルス感染症対策スクール・サポート・スタッフを配置する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校 14校</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>市内においても新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、学校運営に大きな影響があったが、各小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置することにより、教師の負担軽減及び感染症対策の徹底を図ることができた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校 12校</li> </ul> <p>※未配置の2校について、1校は県からのスクール・サポート・スタッフ配置、1校が配置希望無しのため、市からのスクール・サポート・スタッフの配置は無し。</p>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 【修学旅行中止等に伴うキャンセル料等補助金】	令和4年度 決算額	182,032円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校教育課			
事業内容	<p>遠野市立小学校及び中学校において、新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行を中止、延期又は行程を変更したことにより生じたキャンセル料等に係る追加的費用について、補助金を交付することにより保護者の経済的な負担軽減を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校 2校</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>修学旅行の延期又は行程変更によりキャンセル料等に係る追加費用が発生した学校に対し、補助金を交付することにより保護者の経済的な負担軽減を図った。</p> <p>なお、旅行日程や行程の変更、適切な感染防止対策の徹底により、市内全小中学校において修学旅行を実施することができた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校 2校</li> </ul>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	③ 学校給食の充実

施策の展開に係る全体総括	<p>成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することを通じて、健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、発達段階に応じた食生活に対する正しい理解と望ましい食習慣や生活習慣を身に付けるための訪問指導等を行った。また、食材費の一部と物価高騰分を市が負担し、食材費の価格が上昇中でも、給食の質を保持し、保護者の負担軽減を図った。</p> <p>なお、平成25年度から使用してきた食器類の更新や伝統野菜「早池峰菜」の使用など、より安全安心でおいしい給食が提供できるように取り組んだ。</p>
課題	<p>地場産の米・野菜等を積極的に使用し地産地消を推進しているが、産直農家の高齢化や組合員数の減少が課題となっていて、地産地消率の維持が課題である。また、物価高騰については、国の交付金による支援や食材の値上がり・流通の情報を把握し、学教給食の提供に支障がないように務めていかなければならない。</p>

事業費名	学校給食事業費	令和4年度 決算額	222,501,689円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会 学校給食センター			
事業内容	<p>児童生徒に対し、安全安心でおいしい給食を提供し、適切な栄養摂取による健康の保持増進を図り、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい食習慣を養う。</p> <p>遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消を推進する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間給食実施回数 小中学校 各168回</li> <li>給食実施校数 小学校12校（うち1校は特別支援学校） 中学校4校（うち1校は特別支援学校）</li> <li>学校給食食材に占める地場産物使用割合 66.0%</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 衛生管理の徹底と、平成25年度から使用してきた食器類を全て更新したことで、より安全安心な給食を提供できた。また、鉄分やカルシウム強化の食材を使用し、「よくかんで食べよう」など毎月設定した目標によるメニューや、児童生徒の「希望献立」など、適切な栄養摂取と健康保持を図った。</p> <p>栄養教諭による授業では、食に関する正しい知識や食習慣などの授業を行い、食育を推進した。</p> <p>更に、給食の食材費を市が一部負担することで保護者の負担軽減を図るとともに、デザート回数を維持することができた。</p> <p>【遠野市の食材費負担額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生1食当たり27円、総額4,762,800円</li> <li>中学生1食当たり52円、総額5,110,560円</li> </ul> <p>2 学校給食食材に占める地場産物使用割合では、天候の影響で根菜類の使用量が減ったものの、遠野産の野菜を多く使用できる献立に工夫することで、概ね計画値を達成することができた。また、関係者の協力を得て貴重な伝統野菜「早池峰菜」を給食に使用した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間給食実施回数 小中学校 各168回</li> <li>給食実施校数 小学校12校（うち1校は特別支援学校） 中学校4校（うち1校は特別支援学校）</li> <li>学校給食食材に占める地場産物使用割合 60.0%</li> </ul>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(2) 学校教育の充実
施策の展開	④ 学校と家庭、地域との連携の充実

施策の展開に係る 全体総括	令和4年度は、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、「試行の年」と位置づけ取組を展開した。学校運営協議会や学校部会の協議を基にした課題の解決に向けた取組が見られ始めたことや、制度導入に併せて配置したエリアコーディネーターの活躍により、計画値を達成するとともに、コミュニティ・スクールの推進において県内外から高い評価を得ることができた。
課題	学校運営協議会制度を導入する以前から、地域は子どもたちに対し、様々な位置づけで支援してきた経緯があり、学校運営協議会制度の違いや良さについて理解が進んでおらず、結果的に多くの地域で、地域教育協議会や地域運営組織等と具体的な連携・協働に至っていない。今後は、学校と地域が、より適切で効果的な連携・協働を推進するため、特に、地域の特色を踏まえた地域学校協働活動を担う団体の整理と、団体が担う役割や位置づけの理解を進める必要がある。

事業費名	学校と地域の連携・協働推進事業費	令和4年度 決算額	2,762,777円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>複雑化、多様化する学校と地域を取り巻く課題の解決に向けた対応や、遠野のふるさと教育の推進を図り、遠野の子どもたちの「生きる力」を地域とともに育む学校づくりを進めるため、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入するとともに、地域教育協議会を始めとした関係団体が、連携・協働のもと取組を進め、学校と地域が一体となって子どもたちのより良い成長に資する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の設置 3か所</li> <li>・地域学校協働活動の数 6事業</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>令和4年度は「試行の年」と位置づけて取組を推進し、学校運営協議会や学校部会において、学校運営の基本方針の承認や学校評価の共有を行った。</p> <p>また、学校部会の話し合いを通じ、学校課題の解決に向け地域住民の参画による取組が行われ、子どもたちは地域の大人たちに応援されていることを実感するとともに、取組に参加した地域住民は自己有用感を得られるなど、多様な成果が見られた。</p> <p>そのほか、制度の導入に併せて配置したエリアコーディネーターの活動により地域の人材や資源が教育活動に生かされ、学校と地域のゆるやかなネットワークの構築が見られ始めている。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の設置 3か所</li> <li>・地域学校協働活動の数 延べ15事業</li> </ul>			

基本方針	1 ふるさと教育の推進
施策の方向	(3) 高等学校への支援
施策の展開	① 魅力ある高校づくり応援事業の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野高等学校と遠野緑峰高等学校の2校存続に向け入学者数の確保を図るため、市内外の中学生等に対する高校の魅力発信を行った。</p> <p>令和2年度からは「地域みらい留学」に参画し、市内高等学校の魅力を全国に発信し県内外からの入学者を確保する取組を開始している。</p> <p>経済的事由により修学が困難な学生に対して学資の貸与を行い、向学心ある人材の育成に取り組んだ。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、通年で奨学生の追加募集や納付相談の受付を行ったが追加応募等の相談は寄せられなかった。</p>
課題	<p>市内高等学校の存続には入学者の確保が不可欠であるものの、少子化の進行により市内・県内からの入学者の確保も厳しい状況下にあることから、「地域みらい留学」へ参画し全国への情報発信に取り組んでいる。オンラインでの説明会のほか、東京で開催された地域みらい留学フェスタに参加したが、県外からの入学者数の大幅な増加とまではなっていないため、継続的な情報発信に取り組む必要がある。</p> <p>奨学資金については、貸与資金の未償還が課題であることから、本人及び保証人等への定期的な催告による納付の促進に努める必要がある。また、ここ数年、貸与希望者が予定人数を満たしていないことから、借入を希望する方のニーズにあった制度であるか検証する必要がある。</p>

事業費名	育英事業費	令和4年度 決算額	29,730,930円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 学校総務課			
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難なものに対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に係る経済的支援のため、新規採用枠がある限りは通年で募集を行うほか、計画の変更などの納付相談を受け付ける。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規奨学生採用数 32人（うち大学生等28人／うち高校生4人）</li> <li>継続奨学生数 59人（うち大学生等54人／うち高校生5人）</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>新規奨学生の募集を行い、年度途中で追加応募のあった2名を含め、新たに計18人の奨学生を決定し、継続奨学生46人と合わせて64人に奨学金を貸与した。</p> <p>令和5年3月末で、継続奨学生のうち28人が貸与期間を満了した。</p> <p>なお、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を理由とする償還計画の変更や納付相談はなかった。</p> <p>【貸付状況】</p> <p>新規奨学生 8,320,000円、継続奨学生 21,380,000円、計 29,700,000円</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規奨学生採用数 18人（うち大学生等18人／うち高校生0人）</li> <li>継続奨学生数 46人（うち大学生等45人／うち高校生1人）</li> </ul>			

事業費名	高校魅力化サポート事業費	令和4年度 決算額	7,909,156円	
令和5年度 事業所管課	教育委員会事務局 未来づくりサポート室			
事業内容	<p>遠野市内にある県立高等学校の魅力の向上の推進に関する事業を行う団体に対し、補助金を交付することにより、地元県立高校の活性化と魅力化の推進を図る。</p> <p>市内高等学校の魅力向上につながる活動支援をはじめ、両校の魅力を市内外の中学生や保護者等にPRするとともに、全国に情報発信するため「地域みらい留学」に参画し、市外からの入学者の確保につなげる取組を行う。</p> <p>公共交通機関を利用して市内高等学校へ通学する生徒の保護者に対し、通学費の補助を行うことで、経済的な負担を軽減し、入学者数の拡大を図る。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野緑峰高校情報処理科への入学者数 20人以上 (高校魅力化アクションプラン目標値)</li> <li>・市内高校通学費支援 90人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 市内高校が取り組む高校魅力化推進事業への補助金交付</p> <p>(1) 学校紹介パンフレット、PR用DVD等の作成支援(両校)</p> <p>(2) 「新しい『遠野物語』を創るプロジェクト」活動支援(遠野高校)</p> <p>(3) 「拓進プロジェクト」活動、資格取得等の支援(緑峰高校)</p> <p>2 地域みらい留学への参加</p> <p>遠野高校及び遠野緑峰高校への県外からの留学生の確保を図るため、地域みらい留学事業に参画し、オンラインによる説明会の実施や東京で開催された地域みらい留学フェスタに参加し、全国の中学生や保護者等に市内高等学校の魅力を発信した。</p> <p>3 市内高等学校通学費補助金</p> <p>公共交通機関の通学費の半額を補助し保護者の経済的負担を軽減した。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度入学者数 遠野高校 普通科 117人 遠野緑峰高校 生産技術科 31人、情報処理科 11人</li> <li>・市内高校通学費支援 61人</li> </ul>			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(1) 社会教育の充実
施策の展開	① 総合推進体制の整備 ② 家庭や地域教育の充実 ③ 成人教育の充実 ④ 高齢者教育の充実 ⑤ 青少年の健全育成と指導者の養成

施策の展開に係る 全体総括	生涯学習の推進と社会教育の充実、家庭教育の支援に向け、各種事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも感染対策を講じ、関係機関団体と連携して事業を実施し、計画値を概ね達成することができた。
課題	計画値の達成のために、新型コロナウイルス感染症に配慮しながらも、新しい技術の活用など、開催方法を工夫するとともに、関係する機関や団体等との更なるネットワークを構築し、住民が主体的に参画する社会教育事業の実現に向けた取組を進める必要がある。

事業費名	学びのまちづくり推進事業費	令和4年度 決算額	48,507,343円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>いつでも・どこでも・だれもが学習できる環境と優れた芸術に触れる機会の充実に努め、多様で豊かな学びやつながりによる生涯学習・社会教育の実現を図る。</p> <p>1 生涯学習・社会教育 生涯学習及び芸術振興に係る業務の一部を外部委託し、民間ノウハウを活用した事業を展開する。 また、社会教育関係団体や地域運営組織等、社会教育に係る団体との連携協働のもとで社会教育を推進し、幅広い世代が学ぶきっかけを作るとともに学習の成果を地域活動に生かすよう努める。</p> <p>2 家庭教育支援事業 家庭教育は、全ての教育の出発点であり、担い手である保護者等が学ぶ機会を充実させるため、市内小・中学校PTAと連携し、家庭教育ゼミナールを中心とした家庭教育支援を図る。</p> <p>3 旧土淵中学校の利活用について検討を進める。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全講座における継続的講座数 5講座</li> <li>・生涯学習講座延べ受講者数 4,800人</li> <li>・家庭教育講座等の延べ参加者数 1,000人</li> </ul>	評価	達成	



取組・成果	<p>関係機関や団体との連携のもと学習機会の拡充と芸術に触れる機会の充実により、多様で豊かな学びやつながりによる生涯学習・社会教育の実現を図った。</p> <p>1 生涯学習・社会教育 民間の関係団体や社会教育団体との連携により、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の視点のもとで講座等を開催するとともに、学んだ成果を地域活動に生かすことができるような事業展開に努めた。</p> <p>2 家庭教育支援事業 市内小中学校PTA等と連携し、保護者等を対象に情報メディアとの上手な付き合い方や家庭でのコミュニケーションに関することなどをテーマとした学びの機会である「家庭教育ゼミナール」の開催を支援し、家庭教育支援の充実に努めた。</p> <p>3 旧土淵中学校の利活用については、地域団体や関係団体と協議を重ね、地域団体に対し、市として一定の方針を示した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全講座における継続的講座数 12講座</li> <li>・生涯学習講座延べ受講者数 4,944人</li> <li>・家庭教育講座等の延べ参加者数 1,070人</li> </ul>
-------	--

事業費名	若者と女性の活躍推進事業費	令和4年度 決算額	1,265,514	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>1 第4次遠野市男女共同参画基本計画（と・お・の いきいき参画プラン）の指標の達成のため、男女共同参画の啓発に向けた幅広い周知を行う。</p> <p>2 はたちのつどい対象者による実行委員会を組織し、自らが主体的に取り組めるよう支援するとともに新型コロナウイルス対策を図りながら「はたちのつどい」を開催し、はたちのつどい対象者の輝かしい将来を激励・祝福する。</p> <p>3 青少年団体及び女性団体の活動を支援する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年団体加入者数 80人</li> <li>・補助金交付団体 青少年団体 1団体 / 女性団体 1団体</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 LGBTQ関係団体を講師としてお招きし、性の多様性に関する研修会やハラスメントにかかわるオンライン研修を開催し、市民の方々に対し学びの場の提供を行うとともに男女共同参画社会の推進について幅広い周知を行うことができた。また、男女共同参画を推進する「いわて男女共同参画サポーター」についても1名新規に登録するなど、男女共同参画社会の実現に向けた取組が図られた。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症への対策を行ったうえで「はたちのつどい」を開催し、大人としての新たなスタートを激励・祝福することができた。また、はたちのつどい対象者による実行委員会を組織し、式典の企画準備から運営までを行うことで、自らが希望に満ちた一歩を踏み出す機会の創出と、将来を担う人材の育成が図られた。</p> <p>3 地域と暮らしを支える活動に取り組む遠野市地域婦人団体協議会と、青年の視点からまちづくりについて取り組む遠野市青年団体協議会に補助金を交付し、コロナ禍での活動を支援した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青年団体加入者数 138人</li> <li>・補助金交付団体 青少年団体 1団体 / 女性団体 1団体</li> </ul>			

事業費名	高齢者元気アップ活動事業費	令和4年度 決算額	2,274,051円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>高齢者の健康保持と増進、生きがいを高めるとともに親睦を図り、つながりづくりに寄与するため、各種スポーツ大会を開催するとともに、実施に向けた支援を行う。</p> <p>また、老人クラブ活動を支援することにより、高齢者の自立した生活と生きがいのある暮らしの実現に取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会数 5回</li> <li>・各種スポーツ大会参加者数 1,500人</li> <li>・老人クラブ加入者数 2,210人</li> </ul>	評価	未達成	
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、高齢者が生きがいを持ち、健やかに生活できるよう、各種スポーツ大会を開催するとともに、老人クラブが行う自主的な活動等の支援を図った。</p> <p>シルバー文化祭展示部門や岩手県老人クラブ大会等に参加し、高齢者が生き生きと活動できる支援を行った。</p> <p>台風の影響に伴い環境整備ボランティアは中止。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ大会数 6回</li> <li>・各種スポーツ大会参加者数 821人</li> <li>・老人クラブ加入者数 1,877人</li> </ul>			

事業費名	青少年健全育成活動事業費	令和4年度 決算額	633,635円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>青少年の健全育成を効果的に進めるため、遠野市少年センターに専任少年委員及び少年委員を置き、青少年の非行防止などを目的とする巡回活動や健全育成の啓発活動に取り組む。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回補導活動 延べ 450人</li> <li>・特別補導活動への参加 30人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、夏まつり特別補導活動は中止となったが、街頭補導活動や登下校時のあいさつ運動、関係団体と協力した巡回活動へ参加し、青少年の非行防止に向けた啓発に取り組むことができた。また、遠野駅駐輪場の放置自転車の撤去を行い、無施錠自転車の盗難防止と住みよいまちづくりの推進に資することができた。</p> <p>また、「遠野市少年センターだより」を年10回発行し、街頭補導活動の実施状況や少年センターの活動など周知・啓発を行った。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回補導活動 延べ 450人</li> <li>・特別補導活動への参加 0人</li> </ul>			

事業費名	国際交流推進事業費	令和4年度 決算額	1,264,266円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>1 国際的な視野を持ち活躍できる人材の育成を図るため、市内中高生を姉妹都市等へ派遣するとともに、姉妹都市交流事業を通して市民の理解を深める啓発活動を推進する。</p> <p>2 市内に在住する外国人を対象とした生活教育講座等を実施する団体に対し、補助金等の支援をしていく。</p> <p><b>【計画値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の海外派遣数 9人</li> <li>・外国人生活文化教育支援団体補助 1団体</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響により海外派遣交流事業は令和2年度から引き続き中止となったが、日本国内にある体験型英語研修施設へ中高生19名を派遣し、研修中はチャタヌーガ市とのオンライン交流を行うなど新しいプログラムを展開した。また、サレルノ国際映画祭への遠野賞の贈呈など姉妹都市との交流を継続した。</p> <p>2 外国人生活文化教育支援事業は、在住外国人を対象とした日本語教室、日本や遠野の文化を紹介するイベント、生活講座等を開催し、国際交流の推進に寄与した。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の海外派遣数 0人</li> <li>・外国人生活文化教育支援団体補助 1団体</li> </ul>			

基本方針	2 生涯学習の推進
施策の方向	(2) 芸術文化活動の推進
施策の展開	① 芸術文化団体の育成と支援 ② 創作芸術文化活動の振興

施策の展開に係る 全体総括	<p>市民センター自主事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>芸術文化団体への支援については、遠野市芸術文化協会、市民の舞台制作団体へ事業費を補助し、活動を支援したが、総じて新型コロナウイルス感染症の影響を受け計画値を達成することができなかった。</p>
課題	市民の芸術文化に対する興味関心を高めるため、優れた芸術文化に触れる機会の拡充を図る必要がある。

事業費名	芸術文化振興事業費	令和4年度 決算額	2,100,000円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>市内における芸術・文化の振興を図ることを目的として、芸術文化関係団体に事業費を補助する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業の顧客満足度 85%</li> <li>・市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,200人</li> <li>・市民協働の芸術文化事業の観覧者数 6,400人</li> </ul>	評価	未達成	
取組・成果	<p>1 市民センター自主事業</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>2 市民協働の芸術文化事業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県青少年劇場 参加者数 5人、鑑賞者数 644人</li> <li>・第17回遠野市民芸術祭 参加者数 361人、鑑賞者数 1,274人</li> <li>・第32回遠野少年少女合唱隊発表会 参加者数 23人、鑑賞者数 100人</li> <li>・遠野市民センターバレエスタジオ第45回発表会 参加者数 32人、鑑賞者数 367人</li> <li>・第48回市民の舞台遠野物語ファンタジー「きつねの絵筆」等 参加者数 255人、鑑賞者数 1,057人</li> </ul> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業の顧客満足度 0%</li> <li>・市民協働の芸術文化事業の参加者数 676人</li> <li>・市民協働の芸術文化事業の観覧者数 3,442人</li> </ul>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	① 博物館活動の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>柳田國男没後60年に合わせた特別展「遠野物語の世界」、商工会と連携した特別展「遠野のひな人形」等を開催し、中心市街地への集客に努めた。</p> <p>展示解説会を定期的に開催したほか、博物館公式SNSで市内外へ遠野の歴史や文化について情報発信を行い交流人口の拡大を図った。</p> <p>児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努めた。</p>
課題	<p>博物館見学者の満足度は高いものの、入館者数は未達成であることから、魅力的な特別展やイベントの開催、情報発信の強化などを図る必要がある。</p>

事業費名	博物館費	令和4年度 決算額	11,005,486円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>特別展や記念イベントを開催、市内外に情報を発信し、交流人口の拡大を図る。柳田國男没後60年に合わせた特別展「遠野物語の世界」や企画展「京極夏彦のえほん遠野物語原画展」「遠野物語と山の信仰」、遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催する。</p> <p>児童生徒を対象とした博物館教室を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。</p> <p>展示解説会や教室を開催し、文化に親しむ機会を提供する。</p> <p>博物館資料の充実を図り、資料の収集・整理・保存に努める。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館入館者数 17,850人</li> <li>・博物館講座等の受講者数 1,000人</li> <li>・博物館特別展の見学者の満足度 6点（10点満点）</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>柳田國男没後60年に合わせた特別展「遠野物語の世界」、企画展「京極夏彦のえほん遠野物語原画展」「遠野物語と山の信仰」を計画通り開催した。</p> <p>博物館公式SNSでの情報発信が功を奏し、令和4年度の入館者数は前年度比137%（3,804人増）の14,027人となり、市内外に遠野の文化と魅力を情報発信することができた。</p> <p>また、商工会と連携した特別展「遠野のひな人形」を開催して、中心市街地への集客に努めたほか、博物館教室等を開催し、郷土の歴史を学ぶ学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館入館者数 14,027人</li> <li>・博物館講座等の受講者数 1,068人</li> <li>・博物館特別展の見学者の満足度 8.9点（10点満点）</li> </ul>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(1) 郷土文化の保存と活用
施策の展開	② 図書館活動の推進

施策の展開に係る全体総括	<p>広報等を活用し企画展示・映画会等のイベントについての情報発信を行いながら、読書ボランティア団体等と連携した事業を実施し、図書館の利用の促進に努めた。</p> <p>効率的に移動図書館車の運行、学校・児童館・福祉施設等への図書の出借及び配架を行い、市民が本に親しむ機会を創出することに努め、読書の普及を図った。</p> <p>また、貴重な資料・郷土資料の情報収集や整理・保存等適正な管理を実施した。</p>
課題	<p>より市民へ読書に親しむ機会を提供するため、更に図書館の利便性の向上、サービスの充実等を図り、更に利用しやすい環境を構築する必要がある。</p>

事業費名	図書館費	令和4年度 決算額	16,308,651円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>1 図書館利用の促進のため、広報誌、ホームページ等を活用し、情報発信に努めながらイベントを開催する。</p> <p>2 学校図書館、児童館、福祉施設等と連携し、貸出に努め、配架図書の充実を図り、移動図書館車の効率的な運行を推進し読書の普及に努める。</p> <p>3 関係機関と連携し、充実した企画展示等を開催する。</p> <p>4 読書ボランティア団体・個人への支援と育成を推進する。</p> <p>5 分館（宮守ゆうYOUソフト館）の利用促進とともに市民が読書に親しめる環境づくりに努める。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用者登録率 40.6%</li> <li>・市民一人当たりの平均貸出冊数 2.9冊</li> <li>・学校図書館・児童館への児童一人当たりの平均貸出冊数 13.4冊</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 本の企画展、工作会及びワークショップ等のイベントの開催についてホームページ、広報紙、遠野テレビ等を活用し、積極的に情報発信を行い、図書館の利用の促進を図った。</p> <p>2 小中学校、児童館、福祉施設等と連携し、施設貸出を行うとともに移動図書館車で計画的に巡回し、利用者の利便性の向上を図ることができた。</p> <p>3 博物館、こども本の森等の関係機関と連携し、展示、イベントを行い、内容の充実とともに市民が読書に親しむ機会を提供することができた。</p> <p>4 県・関係機関が主催する研修会等に読書ボランティア団体・個人とともに参加し、資質の向上、情報の共有を図る場を創出することができた。</p> <p>5 分館の貸出図書の充実とともに図書館教室を開催し、児童に図書館業務への理解を深めてもらうことができた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の利用者登録率 39.7%</li> <li>・市民一人当たりの平均貸出冊数 2.4冊</li> <li>・学校図書館・児童館への児童一人当たりの平均貸出冊数 13.5冊</li> </ul>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(2) 文化財の保護と継承
施策の展開	① 文化財調査・保護 ② 郷土芸能活動の推進 ③ 遠野遺産の認定と保護活動及び活用の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>令和3年度に引き続きコロナ禍により、郷土芸能の発表会などは中止せざるを得なかったが、芸能備品整備や指定文化財修理への支援は実施することができた。重要文化財旧千葉家住宅等の文化財の修理等については着実に進めた。また、鍋倉城跡の国史跡指定の取り組みが実を結び、市内では綾織新田遺跡に次いで2例目の国指定史跡指定を受けた。</p> <p>埋蔵文化財の保護については、個人住宅建設に伴う発掘調査を実施した。埋蔵文化財の体験教室や企画展を市民有志と企画開催し、コロナ禍でありながらも、令和3年度に引き続き遠野まちなか・ドキ・土器館の入館者数増を実現した。</p> <p>国重要文化的景観選定地域の土淵山口集落では、地域住民とともに体験イベントを開催することができた。</p> <p>遠野遺産については、新規認定のほか昨年度認定した遺産に表示板を設置した。文化財の保護と継承で設定しているまちづくり指標は、全て達成した。</p>
課題	郷土芸能や遠野遺産など、伝承や保存活用の担い手の高齢化や人手不足が深刻化しており、世代交代の促進や、多様な担い手による保護などの方策を検討していく必要がある。

事業費名	文化財調査保護費	令和4年度 決算額	2,846,948円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>文化財保護法及び遠野市文化財保護条例に基づき、適正な文化財保護行政を継続するとともに、遠野の文化や歴史を物語る貴重な財産として文化財の調査・保護、啓蒙活動を推進し、市民の文化向上と郷土愛の醸成を図る。</p> <p>また、民俗芸能の保存継承を推進するため備品整備や発表の場の提供等、必要な支援を継続する。</p> <p>1 指定文化財の調査・保護及びその他未指定文化財の調査、保護啓蒙活動の実施 2 民俗芸能の活動支援</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財指定 1件</li> <li>・民俗芸能の映像記録件数 1件</li> <li>・民俗芸能備品整備補助 2団体</li> <li>・郷土芸能共演会開催支援 1回</li> <li>・神楽共演会開催支援 1回</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 「鍋倉城跡」について調査を実施し、国に意見具申を行い、国史跡に指定となった。調査の成果は、総括調査報告書として刊行した。</p> <p>また、市指定文化財の登坂氏庭園の環境整備（枝払い）に係る費用の一部を補助した。</p> <p>2 早池峰交流会、塚沢早池峰神楽保存会の2団体に対し備品整備の補助を行った。</p> <p>また、郷土芸能共演会及び神楽共演会への開催支援を行い、併せて、神楽共演会の映像を記録し、郷土芸能の保存継承に努めた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財指定 1件</li> <li>・民俗芸能の映像記録件数 1件</li> <li>・民俗芸能備品整備補助 2団体</li> <li>・郷土芸能共演会開催支援 1回</li> <li>・神楽共演会開催支援 1回</li> </ul>			

事業費名	埋蔵文化財発掘調査費	令和4年度 決算額	14,880,721円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>先人たちが遠野の地に生活した証である埋蔵文化財を、魅力あるまちづくりに生かし、郷土に愛着を持った人を育むために、以下の事業を実施し、保存活用を図る。</p> <p>1 埋蔵文化財調査事業 開発に伴う遺跡分布調査、工事立会、試掘調査、発掘調査、出土遺物整理</p> <p>2 埋蔵文化財公開活用事業 発掘資料の展示公開、体験教室の開催</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡分布調査 100件</li> <li>・遺跡試掘調査 10件</li> <li>・遺跡発掘調査 1件</li> <li>・企画展開催 2回</li> <li>・体験教室開催 5回</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 各種開発行為に伴う遺跡の分布調査、試掘調査のほか、砂子沢Ⅲ遺跡発掘調査を実施し、開発により消滅する遺跡の一部を記録保存した。</p> <p>2 遺跡出土資料の展示公開、体験教室の開催</p> <p>(1) 企画展「遠野縄文万博」、「遠野と平泉展」（参加者数：1,455人、期間4月30日～9月30日、10月14日～3月31日）</p> <p>(2) 「縄文土器・土偶作り教室」（参加者数：77人、出前教室含む）</p> <p>(3) 「勾玉作り教室」（参加者数：43人）</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡分布調査 123件</li> <li>・遺跡試掘調査 6件</li> <li>・遺跡発掘調査 1件</li> <li>・企画展開催 2回</li> <li>・体験教室開催 6回</li> </ul>			

事業費名	文化的景観保存事業費	令和4年度 決算額	587,585円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた当市独特の景観を将来に残していくため、国の重要文化的景観選定地域である、荒川高原牧場及び土淵山口集落の保護と活用を図る。</p> <p>1 山口集落の生活に触れられるイベントの開催</p> <p>2 荒川高原牧場の活用策の検討</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会開催 3回</li> <li>・イベントの開催 2回</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 イベントの開催 令和3年度に続き、山口自治会と連携し、茅刈り体験会と薪割り体験会を開催した。市内外からの参加があり、『遠野物語』の里に関心を持ってもらえるきっかけとすることができた。</p> <p>2 荒川高原牧場の活用策の検討 「遠野の景観」保存調査委員会委員等と同牧場の活用について検討を重ねた。今後は検討結果を踏まえ、SNSなどを活用した牛馬の放牧期間などの旬な情報の発信に努め、来訪を促せるような事業を推進する。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会開催 3回</li> <li>・イベントの開催 2回</li> </ul>			



事業費名	重要文化財千葉家住宅整備事業費	令和4年度 決算額	223,590,348円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅を永久的に保存していくため、専門家委員会を開催し助言を得て、保存修理工事及び防災設備整備工事を円滑に進める。</p> <p>また、修理後により良く活用を図るため、重文千葉家の活用を考える会と連携した取組や、千葉家旧蔵古文書等資料の整理及び調査を進める。</p> <p>1 修理事業 2 防災事業 3 活用事業</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主屋茅葺屋根工事 966㎡</li> <li>・稲荷社基礎工事 1件</li> <li>・大工小屋組立工事 1件</li> <li>・土蔵石蔵火災感知器設置</li> <li>・防災工事用仮設道路設置</li> <li>・修理現場公開 2回</li> <li>・整備事業記録映像</li> <li>・古文書調査報告書原稿執筆</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 保存修理工事の実施 主屋屋根茅葺工事、稲荷社部分解体工事及び基礎工事、大工小屋土台組立工事を実施した。 修理工事見学会及び県内工業高校の見学の受け入れ等を行い、計 291人が参加した。</p> <p>2 防災施設等工事 土蔵及び石蔵の火災報知設備を設置し、工事用仮設道路部の既存樹木伐採を行い仮設道路整備を実施した。</p> <p>3 活用に向けた検討及び資料整理 重文千葉家の活用を考える会と具体的な活用の検討や、茅の生産体験、学習会の開催等を連携して実施した。また、古文書資料調査は調査報告書原稿執筆に着手した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主屋茅葺屋根工事 966㎡</li> <li>・稲荷社基礎工事 1件</li> <li>・大工小屋組立工事 1件</li> <li>・土蔵石蔵火災感知器設置</li> <li>・防災工事用仮設道路設置</li> <li>・修理現場公開 11回</li> <li>・整備事業記録映像</li> <li>・古文書調査報告書原稿執筆</li> </ul>			

事業費名	遠野遺産認定事業費	令和4年度 決算額	1,190,663円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、認定された遠野遺産の保護活用を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 遠野遺産認定件数の増</li> <li>2 新たに認定された遠野遺産の表示板の設置</li> <li>3 ガイドブックの発行等による情報発信</li> <li>4 活動の支援</li> </ol> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定件数の増 1件</li> <li>・遠野遺産標示板設置 5基</li> <li>・ガイドブック作成 3,000部</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 遠野遺産認定件数の増 新規の遺産3件（金毘羅神社、宝領神社、旧遠野街道跡と追分の碑）を認定し、累計数が169件となった。</li> <li>2 表示板の設置 遠野遺産表示板認定5基（五百羅漢、宇迦神社、宝龍大権現、小倉稻荷神社、遠野宮守わさび）を設置し、遺産や文化財の啓発に努めた。</li> <li>3 情報発信 ガイドブックの作成、広報遠野への掲載、遠野文化遺産セッションの開催などによる情報発信により、遺産の保存や活用について周知することができた。</li> <li>4 活動の支援 みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備など14件（新里の愛宕神社、遠野南部ばやし、綾織愛宕神社、谷地館の址と八幡宮、新山神社と御神木のヒバ、火渡の石碑群、八坂神社、青笹八幡宮、六角牛神社、日出神社、塚沢神社と奉安殿、砥森神社と本宮五輪塔、柏木平の砥森神社）の保護事業が実施されたことにより、市民協働による地域づくりが推進された。</li> </ol> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定件数の増 3件</li> <li>・遠野遺産標示板設置 5基</li> <li>・ガイドブック作成 3,000部</li> </ul>			

基本方針	3 ふるさとの文化の継承・創造
施策の方向	(3) 郷土の文化を生かした地域創生
施策の展開	① 郷土文化の調査・研究の推進 ② 次世代へのふるさと文化の継承 ③ 市史編さん事業の推進

施策の展開に係る 全体総括	<p>遠野の文化をテーマとした創作活動を表彰する佐々木喜善賞表彰式や遠野文化フォーラムを計画どおりに開催し、遠野の文化を広く発信した。</p> <p>また、遠野の豊かな「語り」の文化を継承・発展させるため、「こども語り部」の認定や遠野こだわりの語り部の活動を支援した。</p> <p>また、市史編さん委員会を開催して事業計画の審議等を行うとともに、各専門部会で今後の刊行に向けた実務協議や資料調査を行った。市民の調査研究員と協働して古文書解読作業も進めた。</p>
課題	<p>遠野の文化を継承・発展させるため、調査資料を活用した講座等の開催や郷土の歴史や先人について、より効果的な情報発信に努める必要がある。</p>

事業費名	遠野文化調査研究費	令和4年度 決算額	8,320,980円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>遠野の文化を生かした、次代を担う「人づくり」と活力ある「まちづくり」を推進するため、遠野の文化をテーマにした創作活動を表彰する「佐々木喜善賞」や文化フォーラム等の開催により、遠野の文化を広く発信する。</p> <p>また、遠野の豊かな「語り」の文化を継承・発展させるため、「こども語り部」の認定を行う。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐々木喜善賞の選考・表彰の開催 1回</li> <li>・遠野文化フォーラムの開催 1回</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>遠野の文化をテーマとした創作活動を表彰する佐々木喜善賞表彰式や遠野文化フォーラムを計画どおりに開催し、遠野の文化を広く発信した。</p> <p>また、遠野の豊かな「語り」の文化を継承・発展させるため、「こども語り部」の認定や遠野こだわりの語り部の活動を支援した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 佐々木喜善賞の選考・表彰式の開催 佐々木喜善賞3点、奨励賞3点、こども賞1点を選考し、表彰式を開催した。</li> <li>2 遠野文化フォーラム「文化と観光をつなぐ」開催</li> <li>3 こども語り部の認定 40人</li> </ol> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐々木喜善賞の選考・表彰の開催 1回</li> <li>・遠野文化フォーラムの開催 1回</li> </ul>			

事業費名	こども本の森遠野運営管理費	令和4年度 決算額	23,606,651円	
令和5年度 事業所管課	市民センター こども本の森運営企画室			
事業内容	<p>世界的建築家安藤忠雄氏の「東北復興のシンボルは子どもたちの未来である」との想いに沿い、子どもたちが夢と希望を大きく育てていく居場所となるよう、着実な運営を推進する。</p> <p>また、開館から初めての冬を経験し確認された不具合について、改修工事を行う。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数 12,500人</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>こども本の森遠野からグローバルな人材が育まれるよう、令和5年度から人材育成に関し専門的なノウハウをもつ団体へ一括して運営を委託するための準備を進めた。</p> <p>7月24日（日）から31日（日）までを「1周年おめでとう期間」とし、こども本の森遠野を育てる会、周辺の商店街、読書推進団体等と連携してまちなかを会場にイベントを開催し、これまで携わっていただいた皆様へ感謝を伝えるとともに、市民にとってさらに身近な施設となるようきっかけをつくった。</p> <p>また、屋根からの落雪防止対策など冬期間における来館者の安全性確保と建物保護のための改修工事を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1周年おめでとう期間中の来場者数 1,292人</li> <li>寄附の募集 令和4年4月1日～令和5年3月31日 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 個人 8件 325,000円</li> <li>(2) 団体 17件 1,241,870円</li> <li>(3) ふるさと納税 894件 12,756,625円</li> <li>合計 919件 14,323,495円</li> </ul> </li> <li>改修工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 外構工事 本館正面土間洗出しコンクリート補修、側溝新設</li> <li>(2) 屋根工事 本館雨樋設置、本館及び蔵雪止金物設置</li> </ul> </li> </ol> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数 21,190人（令和4年4月1日～令和5年3月31日）</li> </ul>			

事業費名	「遠野市史」編さん事業費	令和4年度 決算額	8,424,657円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 文化課			
事業内容	<p>『遠野市史』、『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市政の大きな変換期をまとめた「現代編」を令和元年度に刊行したが、新しい研究成果を踏まえた通史編や民俗編の編さんも求められている。歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸や途絶なども懸念される。</p> <p>「永遠の日本のふるさと遠野」として、後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、継続して市史の編さんを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和5～6年度 資料編刊行</li> <li>令和8～9年度 通史編、民俗編刊行</li> <li>令和9年度 遠野南部氏遠野統治 400年イベントの開催</li> </ol> <p>※ 平成28～令和9年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各年度の事業進捗率 100%</li> <li>下記4項目（1項目25%）すべてを実施した場合 100%と設定</li> <li>1 市史編さん委員会開催</li> <li>2 資料収集、調査</li> <li>3 刊行のための実務作業</li> <li>4 教育普及・広報 市史刊行冊数（累計）1冊</li> </ul>	評価	達成	

<p>取組・成果</p>	<p>1 市史編さん委員会を開催し、全体的な事業計画等について審議するとともに、各専門部会間の情報交換を行い、事業の円滑な推進を図った。 委員会 2回</p> <p>2 専門部会委員や調査研究員等の協力のもと、資料の収集・調査、古文書解読作業を進め、基礎資料の蓄積が図られた。 (1) 資料編、通史編、民俗編に関する調査 64回 (2) 遠野南部家所蔵『御用留書』解読会 26回</p> <p>3 各専門部会で刊行に向けた実務協議を重ねたほか、3冊目の『遠野市史叢書』を刊行した。 原始・古代・中世部会4回、近世部会2回、近現代部会3回、民俗部会3回</p> <p>4 講座の開催や「市史編さん活動報告」の発行などにより、編さん活動を周知し、遠野の歴史に関する教育普及を図った。 (1) 市史編さん講座 開催日：11/19 参加者：17人 (2) 古文書講座 開催回数：3回 参加者：延べ46人 (3) 「市史編さん活動報告」毎月発行（図書館・博物館に配架、ホームページに掲載） (4) 市広報やホームページによる情報発信</p> <p><b>【実績値】</b> 事業進捗率 100%</p> <p>1 市史編さん委員会開催 2 資料収集、調査 3 刊行のための実務作業 4 教育普及・広報 市史刊行冊数（累計）1冊</p>
--------------	--

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	① 健康づくり総合プログラムの推進 ② スポーツの振興

施策の展開に係る 全体総括	生涯スポーツを推進するため、未就学児童及び保護者を対象としたリズム体操等の教室や市民を対象としたエクササイズ教室を実施し、運動機会や参加者の交流の場を提供するとともに、ジュニアスポーツのレベルアップを目的に、サッカー元プロチームの監督を指導者として迎え、アスリートの育成に努めた。 また、パラリンピアン講師によるパラスポーツ体験型授業や花巻市との広域連携事業によるパラスポーツ交流会の実施など共生社会の実現に向けた事業を実施することができた。
課題	運動の習慣化を図るための取組を進めるとともに、共生社会の実現に向け、関係するイベントへの参加者を広く募集する必要がある。

事業費名	生涯スポーツ推進事業費	令和4年度 決算額	6,631,205円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>市民が自分のスタイルや興味に応じて、健康で充実した日常生活や人との交流等を生み出し、いつまでもスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、次の施策を推進する。</p> <p>1 キッズ元気アップ応援隊事業 市内の各保育園等を会場に、未就学児童及び保護者を対象としたリズム体操等の教室を開催し、バランス感覚や運動能力の向上を図る。</p> <p>2 エクササイズ教室の開催 スポーツ参画人口の拡大を図るため、市民センターを会場として定期的に参加できるエクササイズ教室を開催し、運動機会や参加者の交流の場として提供する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キッズ元気アップ応援隊事業参加者数 1,550人</li> <li>エクササイズ教室の開催参加者数 2,100人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 キッズ元気アップ応援隊事業 令和4年度は、全70回開催し、体を使って運動する楽しさや遊びの中でバランス感覚を養う運動を提供できた。</p> <p>2 エクササイズ教室の開催 令和4年度は、全体で120回開催し、3種類のエクササイズプランを提供した。運動不足の解消、日々の体を動かすきっかけを作るとともに、参加者間の交流機会を創出できた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キッズ元気アップ応援隊事業参加者数 1,187人</li> <li>エクササイズ教室の開催参加者数 2,348人</li> </ul>			

事業費名	アスリートスポーツ推進事業費	令和4年度 決算額	9,981,810円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>1 市外からスポーツ合宿団体を誘致し、遠野市のスポーツ施設の充実を発信し、スポーツ施設の利用を促進していく。</p> <p>2 遠野市スポーツ少年団及び遠野市体育協会の運営補助のほか、児童生徒によるジュニアスポーツレベルアップ事業を実施するとともに、全国大会等への出場を支援する。</p> <p>3 日本スポーツマスターズ2022岩手大会サッカー競技開催に係る歓迎おもてなし事業では、遠野市会場において出場選手や観客に対し、横断幕及び懸垂幕で歓迎するとともに、飲み物を振る舞い遠野市の物産等をアピールする。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ合宿誘致件数 5件</li> <li>・市内文化・体育振興団体からの受賞者数 54件</li> <li>・日本スポーツマスターズ2022岩手大会サッカー競技開催に係る歓迎おもてなし事業 参加者・観客者数 350人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 合宿の誘致団体数は、当初3件の申込みがあったが、新型コロナウイルス感染症等の理由により、2件が見送りとなり1件のみの誘致となった。誘致した団体については、市内のスポーツ施設を活用した合宿に対する支援を行った。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、大会や事業を実施できた。また、ジュニアスポーツレベルアップ事業においては、サッカー元プロチームの監督を指導者として迎え技術の向上を図った。</p> <p>3 日本スポーツマスターズ2022岩手大会サッカー競技開催に係る歓迎おもてなし事業として、全国から来ていただいた、選手、大会関係者、応援来場者に、横断幕・懸垂幕を設置して歓迎し、おもてなしでりんごジュース等を振る舞い大好評であった。遠野の名産品・物産等をPRし、道の駅や観光施設等へ多くの方を誘導することができた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ合宿誘致件数 1件</li> <li>・市内文化・体育振興団体からの受賞者数 50件</li> <li>・日本スポーツマスターズ2022岩手大会サッカー競技開催に係る歓迎おもてなし事業 参加者・観客者数 約300人</li> </ul>			

事業費名	先導的共生社会ホストタウン推進事業費	令和4年度 決算額	288,200円	
令和5年度 事業所管課	市民センター 生涯学習スポーツ課			
事業内容	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に取り組んできたホストタウン交流や共生社会のまちづくりについて、東京2020大会のレガシーとして、これらの取組を継続・発展させ、更なる地域の活性化、共生社会の実現を図る。</p> <p>1 ブラジルとの交流活動による国際理解の推進</p> <p>2 共生社会の実現に向けた心のバリアフリーの推進</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ体験会開催件数 15回</li> </ul>	評価	未達成	
取組・成果	<p>1 コロナウイルス感染症等により交流活動等の実施には至らなかった。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策を図り、パラリンピアンとの交流や障がいへの理解教室として、「順天堂大学スポーツ健康科学部とのスポーツを通じた共生社会推進に関する連携協定による共生社会学習」、「あすチャレ！アカデミー」、「あすチャレ！ジュニアアカデミー」を開催し、心のバリアフリーに努めた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ体験会開催件数 7回</li> </ul>			

基本方針	4 健康づくりの推進
施策の方向	(1) 健康づくり活動の推進
施策の展開	③ 食育の推進

施策の展開に係る全体総括	遠野市内の児童・生徒の健康課題のひとつである「肥満」は将来の生活習慣病に結びつくことから、肥満改善に向け各年代に合わせた食育講座を開催した。児童・生徒に対しては、朝ごはんを用意する技術の基礎となる「料理を作る力」を育むことを目的として調理実習を含めた教室を開催し、食べる事の大切さや料理への興味を引き出すきっかけをつくった。また、母子保健担当や子育て支援担当と連携し、各事業内で朝ごはんの必要性等を伝え子育て期の保護者の理解を深めた。
課題	子どもの健康は家庭生活の影響が大きいことから、肥満の一因となる「朝ごはん抜き」の食生活を見直すとともに生活習慣の適正化や料理を作る力を身につけるべく、学校、地域等の関係機関と連携し取り組む必要がある。

事業費名	ばすぼる推進事業費	令和4年度 決算額	809,444円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 総合食育課 / 学校給食センター			
事業内容	各年代に合わせた食育活動を通じて、バランスの取れた適正な食事による健康への理解、地域に残る食文化や地域食材の魅力等を伝え、第3次遠野市食育推進計画の基本理念である「食を通じて健全なこころと体、生きる力を育む」ことのできる環境づくりを進める。 【計画値】 ・朝食を取る習慣のある子どもの割合 95.0%	評価	概ね達成	
取組・成果	1 食育講座や講演会では、年代ごとの「料理をつくる力」を身に付けることに重点を置いて実施し、参加者した市民の「生きる力」を伸ばすことができた。 2 乳幼児健診やパパママ教室時の食指導では、朝食の重要性を伝え、参加した親子の健康づくりに寄与した。 3 市食育推進ネットワーク会議の構成団体を中心となって開催する「ばすぼる食育まつり」を3年ぶりに開催し、食育無関心層への食に関する正しい知識の普及啓発に努めた。 4 食生活改善推進員への活動補助、知識習得や技術向上のための支援を行い、市民協働による食育活動を推進した。また、令和3年度に製作した食育レシピカード集を活用した調理実習等を行い、食生活改善に係るアドバイスの充実を図ることができた。 【実績値】 ・朝食を取る習慣のある子どもの割合 90.6% (小学生 95.8%、中学生 75.6%) ・食育講座・講演会 (小学生 11回 139人、中学生 12回 380人、高校生 4回 103人、高齢者 8回 144人 食育イベント 2回 560人) ・母子保健事業食指導 22回 ・食育推進ネットワーク会議 (会議・研修会 5回) ・食生活改善推進員の育成研修会 26回 (延べ242人)			



基本方針	5 子育て支援の推進
施策の方向	(1) 少子化対策・子育て支援
施策の展開	① 少子化対策・子育て支援総合プランの推進 ② 子育て支援の充実

施策の展開に係る 全体総括	<p>第2次遠野わらすっこプランに基づき、少子化対策・子育て支援施策の充実を図るため、子育て世代のニーズを踏まえた施策を推進した。</p> <p>病児等保育施設、児童館及び児童クラブ、ファミリー・サポート・センター事業の実施により、子育てと就労等との両立の支援を図った。</p> <p>わらすっこ基金事業として、子どもが健やかに育つ環境づくりを普及・推進する活動団体に対する助成のほか、子どものスポーツ・文化活動に係る市の施設使用料の無償化を継続し、子育てを地域で支えるまちづくりを推進した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、子育て施設ヘルパー派遣、児童館等衛生環境整備、保育施設等衛生環境整備・感染症対策の各事業を継続して実施し、子育て関連施設の衛生環境対策を図った。一方では、感染症対策を実施しながら、遠野わらすっこまつりを3年ぶりに開催することができた。</p>
課題	<p>子どもの居場所づくりを推進するため、白岩児童センターの整備を進める。</p> <p>「子ども家庭総合支援拠点」として、要保護児童等の支援に努める。</p>

事業費名	看護保育安心サポート事業費	令和4年度 決算額	13,065,494円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>保護者が就労している等の理由により、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合に対応するため、遠野市病児等保育施設「わらっぺホーム」において病気の児童を一時的に保育することで、安心して子育てができる環境を維持し、もって児童の福祉の向上を図ることを目的とする。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設日数 240日</li> <li>・登録者数 200人</li> <li>・利用者数 500人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>病児等保育施設「わらっぺホーム」の運営を社会福祉法人遠野市保育協会に委託し、保護者が安心して子どもを預けられる環境の充実を図った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、一部制限をかけるなど対策を講じながら開設を継続した。</p> <p>【参考】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度（開設日数 240日） 登録者数 240人、年間利用者延べ人数 484人（1日平均 2.02人）</li> <li>2 令和2年度（開設日数 226日） 登録者数 121人、年間利用者延べ人数 196人（1日平均 0.87人）</li> <li>3 令和3年度（開設日数 172日） 登録者数 128人、年間利用者延べ人数 219人（1日平均 1.27人）</li> </ol> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設日数 215日</li> <li>・登録者数 83人</li> <li>・利用者延べ人数 176人</li> <li>・利用者実数 51人</li> <li>・1日平均 0.82人</li> </ul>			

事業費名	わらすっこの居場所事業費	令和4年度 決算額	119,148,542円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>両親が働いているなど、昼間家庭に保護者がいない児童の放課後の健全育成を図るため、児童館や児童クラブを利用した学童保育を行うとともに健全な遊びを通し、児童の健康増進と豊かな情操を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館指定管理委託</li> <li>・放課後児童健全育成業務委託（児童クラブ運營業務委託）</li> </ul> <p>社会福祉法人遠野市保育協会に対し補助金を交付し、児童館及び児童クラブに勤務する職員の処遇改善を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館 7か所</li> <li>・児童クラブ 4か所</li> <li>・小学生利用登録率 80.0%</li> <li>・保育士等処遇改善臨時特例補助 1団体</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>放課後等における児童の居場所づくりとして、社会福祉法人遠野市保育協会に児童館・児童クラブの管理運営を委託し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、発達段階に応じた遊びを提供し、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣等の健全育成を図った。</p> <p>社会福祉法人遠野市保育協会に対し補助金を交付することにより、児童館及び児童クラブに勤務する職員の処遇改善が図られた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館 7か所</li> <li>・児童クラブ 4か所</li> <li>・小学生利用登録率 81.8%</li> <li>・保育士等処遇改善臨時特例補助 1団体</li> </ul>			

事業費名	ファミリー・サポート・センター推進事業費	令和4年度 決算額	3,238,442円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>育児の援助をお願いしたい「おねがい会員」と育児を援助したい「まかせて会員」を会員として組織化し、地域において会員同士が行う相互援助活動を支援し、児童の福祉の向上を目指し、地域での子育て支援機能の強化に向けた体制を作る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 年間依頼件数 100件</li> <li>2 講習会（9科目） 24時間</li> <li>3 交流会 1回</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>ファミリー・サポート・センターを運営し、地域で子どもを育てる相互援助活動を支援することで、子育て支援の環境整備を推進した。</p> <p>今年度は、当市開催の岩手県母子寡婦福祉連合会主催「家庭生活支援員養成講座」と会員講習会を合わせて実施し、まかせて会員のスキルアップを図った。</p> <p>また、両会員の親睦や情報交換の場として交流会を開催した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 年間依頼件数 78件</li> <li>2 講習会（16科目） 28時間</li> <li>3 交流会 1回</li> </ul>			

事業費名	みんなで応援子育てのまち推進事業費	令和4年度 決算額	21,247,223円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>1 わらすっこプラン推進事業 第2次遠野市少子化対策・子ども・子育て支援総合計画（通称：第2次遠野わらすっこプラン）により、次代を担う子どもを産み育てる家庭を地域みんなで応援し、子どもが心身ともに健やかに育つための実効性ある施策を推進する。</p> <p>2 わらすっこ基金助成事業 遠野市わらすっこ基金助成要綱に基づき、地域社会で支え合う共助により子どもが健やかに育つ環境づくりの活動を充実し拡大することを目的とする事業を実施する団体に対し、わらすっこ基金を活用し助成金を交付する。 子どもたちの団体活動の促進と子育て支援を推進するため、学校のクラブやスポーツ少年団、社会教育登録団体等が公共施設を利用する際、わらすっこ基金を活用し施設使用料をサポートする。</p> <p>3 わらすっこ応援券交付事業 市内に住所を有し、出生した児童の保護者に対し、遠野市わらすっこ誕生応援事業実施要綱に基づき、木製写真立てと1万円分のわらすっこ応援券を贈呈する。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わらすっこ条例応援認定事業者 1事業者</li> <li>・わらすっこ基金助成金交付 4団体</li> <li>・施設使用料サポート事業助成金交付 28団体</li> <li>・写真立て等贈呈人数 130人</li> </ul>	評価	概ね達成	
取組・成果	<p>1 わらすっこプラン推進事業 わらすっこ支援委員会の開催やわらすっこ条例応援事業者の認定、わらすっこまつりの開催などを通じ、子どもの権利が保障され、健やかな育ちを支援する取組を推進することができた。</p> <p>2 わらすっこ基金助成事業 わらすっこ基金助成金の対象となる事業はなかったが、市内子ども団体に対する施設使用料の無償化を継続し、子どもたちの活動に寄与することができた。</p> <p>3 わらすっこ応援券交付事業 写真立てとわらすっこ応援券を贈呈し、子どもたちの誕生をお祝いするとともに、一時保育やファミリー・サポート・センターなどの子育てサービスへの支援を継続した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わらすっこ条例応援認定事業者 7事業者</li> <li>・わらすっこ基金助成金交付 0団体</li> <li>・施設使用料サポート事業助成金交付 31団体</li> <li>・写真立て等贈呈人数 102人</li> </ul>			

事業費名	未来へつなぐ子ども家庭支援事業費	令和4年度 決算額	6,078,568円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、子どもとその保護者、女性からの相談に対応し、適切な支援に結び付け児童福祉の充実を図る。</p> <p>1 遠野市要保護児童地域対策協議会の開催 2 児童虐待防止と周知 3 子育て家庭支援ヘルパー派遣事業 4 子育て短期支援事業</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市要保護児童対策地域協議会の開催 4回</li> <li>・児童虐待防止オレンジリボン配布及び虐待防止メッセージの配布 2回</li> <li>・家庭ヘルパー 3人</li> <li>・子育て短期支援事業委託施設 3か所</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>1 遠野市要保護児童対策地域協議会代表者会議を1回、実務者会議を4回開催し、要保護児童への支援について進行管理を行った。児童虐待継続ケース56件、新規ケース29件、終結17件に対応した。児童虐待相談 565件、障がい・育成相談43件、女性相談243件に対応した。</p> <p>2 児童虐待防止・DV防止のオレンジリボン、パープルリボンツリーの展示、市内小学生に児童虐待防止メッセージ入り花の種を配布し、児童虐待防止について周知を図った。</p> <p>3 家庭支援ヘルパー3名を確保し、ヘルパー派遣28件、職員対応52件、専門的相談46件に対応した。</p> <p>4 県内の施設3か所の児童養護施設と、保護者の疾病その他の理由で短期入所及びショートステイできるように負担金を措置した。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野市要保護児童対策地域協議会の開催 4回</li> <li>・児童虐待防止オレンジリボン配布及び虐待防止メッセージの配布 2回</li> <li>・家庭ヘルパー 3人</li> <li>・子育て短期支援事業委託施設 3か所</li> </ul>			

事業費名	児童館施設整備事業費	令和4年度 決算額	28,293,100円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>地区センターに併設した小友児童クラブ及び達曽部児童クラブについて、本体建物の改修工事と併せて改修することにより、放課後等における子どもの居場所環境の充実を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小友児童クラブ改修工事 1式</li> <li>・達曽部児童クラブ改修工事 1式</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>活動室、トイレ、照明、空調設備等の改修により、放課後等における子どもの居場所環境の充実が図られた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小友児童クラブ改修工事 1式</li> <li>・達曽部児童クラブ改修工事 1式</li> </ul>			

事業費名	白岩児童センター整備事業費	令和4年度 決算額	0円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	老朽化した白岩児童館を白岩児童センターとして改築するため、新築工事実施設計業務を行う。 【計画値】 ・白岩児童センター新築工事実施設計業務 一式	評価	-	
取組・成果	老朽化した白岩児童館を白岩児童センターとして改築するため、新築工事実施設計業務を行った。 業務に係る支出が年度を超えるため、令和5年度に繰り越して行う。 【実績値】 ・白岩児童センター新築工事実施設計業務 一式			

事業費名	遠野北小学校エリア子どもの居場所づくり推進事業費	令和4年度 決算額	25,770,000円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	老朽化した白岩児童館を白岩児童センターとして改築するため、新築工事基本設計業務、用地取得を行う。 【計画値】 ・白岩児童センター新築工事基本設計業務 一式 ・用地取得 2,140.23㎡	評価	達成	
取組・成果	老朽化した白岩児童館を白岩児童センターとして改築するため、新築工事基本設計業務、用地取得を行った。 【実績値】 ・白岩児童センター新築工事実施設計業務 一式 ・用地取得 2,140.23㎡			

事業費名	遠野北小学校エリア子どもの居場所づくり推進事業費 (繰越明許費)	令和4年度 決算額	1,609,300円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	老朽化した白岩児童館を白岩児童センターとして改築するための関連業務として用地現況測量業務、用地造成設計業務、用地分筆測量業務及び白岩児童館アスベスト現地調査業務を行う。 【計画値】 ・用地現況測量業務 一式 ・用地造成設計業務 一式 ・用地分筆測量業務 一式 ・白岩児童館アスベスト現地調査業務 一式	評価	達成	
取組・成果	老朽化した白岩児童館を白岩児童センターとして改築するための関連業務として用地現況測量業務、用地造成設計業務、用地分筆測量業務及び白岩児童館アスベスト現地調査業務を行った。 【実績値】 ・用地現況測量業務 一式 ・用地造成設計業務 一式 ・用地分筆測量業務 一式 ・白岩児童館アスベスト現地調査業務 一式			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (子育て施設訪問支援)	令和4年度 決算額	1,737,850円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>保育園及び児童館等の施設の環境整備（遊具や施設内の消毒など）を行い、利用する子どもたちの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び施設職員の業務負担軽減を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象施設 28カ所</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>消毒作業の実施により施設の清潔な環境を維持し、継続的なサービスの提供を行うとともに、施設職員の負担軽減が図られた。</p> <p>【実績値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象施設 28カ所</li> </ul>			

事業費名	新型コロナウイルス感染症予防対策事業費 (保育施設等感染症対策)	令和4年度 決算額	3,105,867円	
令和5年度 事業所管課	健康福祉部 子育て支援課			
事業内容	<p>保育園及び児童館等において、新型コロナウイルス感染症感染対策を徹底し、継続的なサービスの提供を行うため、感染拡大防止対策に必要な物品を配布し、施設設置者の支援を図る。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等 14園</li> <li>・児童館・児童クラブ 11施設</li> <li>・子育て支援拠点事業等 6事業</li> </ul>	評価	達成	
取組・成果	<p>安全にサービスを提供するために必要となる適切な住環境を保つため、手指用消毒アルコール等の消耗品を配布し、施設設置者への支援を図った。</p> <p>【計画値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等 14園</li> <li>・児童館・児童クラブ 11施設</li> <li>・子育て支援拠点事業等 6事業</li> </ul>			

## IV 外部評価の実施

令和6年1月22日（月）に、「遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況（令和4年度実施事業）の外部評価会議」を開催し、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定により、学識経験を有する5名の外部評価員に、15ページから58ページまでの「Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検評価の結果」の内容について、下記のとおり意見等をいただきました。

### 【外部評価員】

（敬称略）

氏名	役職
堀村 克利	遠野市校長会（遠野中学校長）
小友 福子	遠野西中学校区学校運営協議会 会長 鱒沢地区地域教育協議会 会長
菊池 享	社会福祉法人遠野市保育協会 常務理事
多田 宜史	遠野市PTA連合会 会長
新田 依子	遠野東中学校区学校運営協議会エリアコーディネーター

### 【外部評価員からの主な意見、質疑等】

評価書ページ	事業費名 （発言者）	主な意見、質疑等
全体	事業全般に関して  （多田宜史評価員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各事務事業に「目的」の欄を記載すべきではないか。</li> <li>▶ 数年前にも提案したが、評価の判断を行なうにあたり、事務事業の目的が達成されたかを判断することとなっているので、各事務事業に「目的」を記載すべきではないか。その方が達成状況を判断しやすくなる。</li> <li>▷ 事務事業の評価資料については、市議会の決算審査で使用する「主要な施策の成果説明書」をベースに作成している。システムで管理したものを使用しているため、フォーマットを変えることはすぐには難しい状況である。対応として、可能な限り目的を記載するよう考慮し作成した。</li> </ul>
16 17	保育所等運営事業費 〈保育所運営委託〉 幼稚園応援事業費  （多田宜史評価員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育所と幼稚園の施設等利用給付数について</li> <li>▶ 保育所の施設等利用給付数が0に対し、利用者の少ない幼稚園の施設等利用給付が19人なのはなぜか。</li> <li>▷ 16ページの施設利用等利用給付0人が聖光こども園、17ページの施設利用等利用給付19人が光の園幼稚園となるが、光の園幼稚園では、預かり保育を希望する保護者が19人であったが、聖光こども園では、幼稚園と保育園の機能の棲み分けができていたので利用希望が無かったという結果と考えている。</li> </ul>
18	《施策の展開》 教育内容の充実  （小友福子評価員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教職員の働き方改革について</li> <li>▶ 教育長が教職員の働き方改革推進会議に出席されているが、本会議の主催とメンバーは。</li> <li>▷ 主催は教育委員会事務局。メンバーは教育委員会事務局のほか各学校の衛生推進者である副校長が集まり会議を行なっている。</li> </ul>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教員は多忙であるので資料の印刷などの簡易な作業を行う方がいると助かると思う。負担を減らし、子ども達と向き合う時間を確保してほしい。</li> <li>▷ 令和4年度は、コロナ関連事業として学校内の消毒作業等を行うためにスクールサポートスタッフを全校に配置した。令和5年度は、コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、2学期以降は規模の大きい学校のみでの配置とした。国では、教職員の働き方改革の面から、スクールサポートスタッフを令和6年度から配置することを検討しているとの新聞報道があった。</li> </ul>
18	<p>《施策の展開》 教育内容の充実</p> <p>(堀村克利評価員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>教職員の働き方改革について</b></li> <li>▶ 教職員の働き方改革について、市教育委員会として課題と捉えているものがあれば伺いたい。</li> <li>▷ 教職員の超過勤務時間は年々減少してきているが限界を感じている。市教委で出来ること、学校で出来ることを両輪で進めていきたい。</li> <li>▶ スクールサポートスタッフの配置については非常に助かっている。今後の配置の方針を伺いたい。</li> <li>▷ 来年度については、市の予算化は行っていない。なお、国ではスクールサポートスタッフを増やしていく方向との新聞報道があった。国の動向を確認しながら、学校にも情報を共有していく。</li> </ul>
18	<p>《施策の展開》 教育内容の充実</p> <p>(多田宜史評価員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>教職員の働き方改革について</b></li> <li>▶ 教職員の働き方改革の説明のなかに、部活動の地域移行やコミュニティ・スクールの話が無かったが、教職員の負担軽減のために始まった経緯もあったと思うので、様々な団体と連携しながら市全体として取り組むよう進めていただきたい。(意見)</li> </ul>
19	<p>令和・南部藩寺子屋交流事業費</p> <p>(多田宜史評価員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>令和・南部藩寺子屋交流事業について</b></li> <li>▶ 令和・南部藩寺子屋交流事業に関して、3年続けて中止となっていたので、コロナ禍であっても開催できるようにしておくべきだったと思う。(意見)</li> <li>▶ 昨年、八戸市の明治中学校で南部流鎗馬について講演を行った。「清心尼」を知っているか質問をしたところ誰も手を上げなかった。八戸市の子ども達に「清心尼」を知ってもらうことも目的の一つにしてはどうか。(意見)</li> </ul>
19	<p>令和・南部藩寺子屋交流事業費</p> <p>(小友福子評価員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>交流体験の重要性について</b></li> <li>▶ 高齢化、少子化、人口減少は全国的な課題。遠野を背負っていく子どもを育てていく必要がある。こういった交流事業で体験することは大事である。(意見)</li> <li>▶ 大人になって過去を振り返った時に、子どもの頃に体験したことを思い出す。子ども達には遠野の良さをもっと知ってもらいたい。(意見)</li> </ul>
18	<p>《施策の展開》 教育内容の充実</p> <p>(菊池享評価員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>子ども達の挨拶について</b></li> <li>▶ 挨拶は「知・徳・体」のうち「徳」の基本の一つ。自ら元気よく挨拶をする子もいれば、挨拶をしても返さない子もいる。知らない人に声を掛けられても返事をしないように教えられているという人もいますが、実際はどのような指導がされているのか。</li> <li>▷ 挨拶指導はどこの学校でも行っており、市内の大半の学校では挨拶が響いている。学校外での挨拶については家庭における指導や考え方にもよる。</li> </ul>



評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
22	学力向上対策事業費  (小友福子評価員)	<p>● <b>放課後学習支援について</b></p> <p>▶ 放課後学習支援について、放課後学習で宿題を終えれば、家庭での学習は行わなくても良いのか。</p> <p>▷ 授業で「わかる」となったものを、放課後学習支援で「できる」ところまで持っていき、「できる」ようになった状態で家庭学習を更に行ってもらおうことを目指し行っている。</p>
22	学力向上対策事業費  (新田依子評価員)	<p>● <b>放課後学習支援について</b></p> <p>▶ 宿題のほか、別のプリント等を用意している学校や宿題は放課後学習、音読は家に帰ってから行うなど学校毎に工夫されている。みんなと一緒に楽しくやっており、参加した子ども達は充実した様子だった。(情報提供)</p>
20 21 22	特別支援教育推進事業費 特定教科集中対策事業費 学力向上対策事業費  (堀村克利評価員)	<p>● <b>特別支援教育支援員等の配置について</b></p> <p>▶ 特別支援教育支援員、特定教科学習支援員、教育相談員の配置をいただき大変助かっている。教員の配置は、国や県によるところが大きいので増員はなかなか難しいが、市の独自で支援員、相談員を配置していただき、働き方改革の面においても教員の負担軽減につながっている。また、支援員や相談員に心を開いている子ども達もおり変化も見られた。今後も継続していただくよう要望する。(意見)</p>
29	通学対策費(中学校)  (多田宜史評価員)	<p>● <b>スクールバスの特別運行について</b></p> <p>▶ スクールバスの特別運行の延べ台数が計画値 270 台に対し、実績値が 157 台となっていた。予算的に余裕があるのであれば、今後の部活動地域移行が本格化した際などに活用されると思うので、弾力的な運用をお願いしたい。</p> <p>▷ 令和4年度はコロナ禍ということもあり、特別運行の実績が計画値を下回ったもの。今年度については、コロナウイルス感染症がら類移行したことにより、平常時に戻ってきているので特別運行も例年並みとなっている。弾力的な運用については、部活動の地域移行に併せて検討していく。</p>
26 29	教材整備費(小学校) 教材整備費(中学校)  (新田依子評価員)	<p>● <b>学校図書を選書方法、学校司書の配置予定について</b></p> <p>▶ 学校図書の選書方法はどのように行われているのか。先生方は多忙であるため、本の選書を負担と感じているようだ。</p> <p>▷ 学校図書の選書については、学校で本を選定し購入している。</p> <p>▶ 学校司書の配置の見込みはあるか。他の自治体では会計年度任用職員を配置しているところもあると聞く。</p> <p>▷ 司書教諭については、学校図書館法で 12 学級以上の学校に配置しなければならないと設置基準がある。よって、11 学級以下の小規模校には設置されていない。学校司書の配置は今のところ予定はない。会計年度任用職員の配置については、予算を伴うものなので現時点では難しい状況。図書ボランティアの方々のご支援は学校において大変助かっている。</p>
32	学校給食事業費  (菊池享評価員)	<p>● <b>給食の地産地消について</b></p> <p>▶ 学校給食において地場産の食材使用の仕組み、使用割合向上の仕組みについて伺いたい。</p> <p>▷ 市内3つの産直で構成する産直給食会に事前に発注書を送り、産直においては各農家と調整し供給分を確保するといった形など可能な限り地場産のものを給食に取り入れるよう努めている。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
32 35	学校給食事業費 高校魅力化サポート事業費  (多田宜史評価員)	<p>● <b>高校への学生食堂設置の提案について</b></p> <p>▶ 高校への給食提供を訴えてきたが難しそうなので、高校への学生食堂の設置を提案したい。市内ホテル等によるケータリングといった方法もあると思う。(意見)</p> <p>▷ 市の総合計画において高校への給食を検討するとしているが、設備工事や食器、食缶の購入等大きなコストがかかるため、なかなか難しい状況である。高校からの魅力化に係る提案をいただきながら優先順位の高いものから検討していきたい。</p>
32	学校給食事業費  (堀村克利評価員)	<p>● <b>学校給食のPRについて</b></p> <p>▶ 遠野市の給食はとても美味しい。保護者や地域の方々にPRしていくことで食育の理解につながっていくと思うのでもっとPRを行ってほしい。(意見)</p>
32	学校給食事業費  (多田宜史評価員)	<p>● <b>学校給食PR方法について</b></p> <p>▶ 金ヶ崎町では、インスタグラムを使って給食を毎日紹介している。(意見)</p>
32	学校給食事業費  (新田依子評価員)	<p>● <b>給食の試食会について</b></p> <p>▶ 保護者や地域の方が給食を試食できる機会を設けてはどうか。(意見)</p> <p>▷ 給食試食会については、コロナで中止していたが、今年度から再開している。「交流すまいる給食」の様子については遠野テレビで放送してもらった。PR方法を検討し、できることから広げていきたい。</p>
33	学校と地域の連携・協働推進事業費  (小友福子評価員)	<p>● <b>地域で子どもを育てる活動研究発表会について</b></p> <p>▶ 地域で子どもを育てる活動研究発表会に参加してみて、とても内容が充実していて素晴らしい発表会であった。終盤に近くの人との意見交換があったがもう少し時間が欲しかった。</p> <p>▷ 意見交換(ガヤガヤタイム)の時間は予定の時間を押したため短くなってしまった。</p> <p>▶ 各学校部会で人材バンクを作っていくなかで、なかなか人が足りない状態なので、市全体で人材を融通しあうような仕組みが出来ればいいなといった話があった。(意見)</p> <p>▶ 課題に「学校運営協議会制度の違いや良さについて理解が進んでおらず～」とあるが、徐々に進んでいると感じている。</p> <p>▷ 学校運営協議会制度については、徐々に理解が進んでおり、地域の活動については広がりが出てきたと感じている。今後もこの制度を多くの方に知っていただくよう情報発信を行っていきたい。</p>
33	学校と地域の連携・協働推進事業費  (新田依子評価員)	<p>● <b>人材バンクについて</b></p> <p>▶ コミュニティ・スクール(CS)においても人材バンクの話は以前からでていた。遠野市では図書ボランティアのネットワークがあるので、読み聞かせなど少しずつ浸透している。(情報提供)</p>
33	学校と地域の連携・協働推進事業費  (小友福子評価員)	<p>● <b>コミュニティ・スクール(CS)の遠野スタイルとは</b></p> <p>▶ CSの遠野スタイルとは、事務局を生涯学習スポーツ課が行い、3つの中学校区でそれぞれ各部会があるというのが遠野スタイルということか。</p> <p>▷ 運営協議会や部会等に市教委が伴走しているケースはあまり他市町村ではみられないようである。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
35	高校魅力化サポート事業費 (小友福子評価員)	<p>● <b>市内の高校について</b></p> <p>▶ 釜石や花巻など市外の高校に入学する生徒が多く感じるが、市内の高校に行かない理由は何か。市内の2校は存続するのか。</p> <p>▷ 遠野に限った話ではなく、県内の中学生の約3割は、他市町村の高校に進学している状況がある。学区の関係もあるが、釜石あるいは花巻の高校に進学する生徒も多い。高校魅力化については、何が必要かを高校自ら真剣に考えてもらいサポートを進めている。2校存続については、県の高等学校教育の在り方検討会議が開催されており、その検証結果を踏まえ将来的に議論されていく。</p>
36	学びのまちづくり推進事業費 (多田宜史評価員)	<p>● <b>学びのまちづくり推進事業費の決算額について</b></p> <p>▶ 学びのまちづくり推進事業費の決算額が前年度決算と比較し500万円程減少しているがその理由は何か。</p> <p>▷ 令和3年度は、遠野みらい創りカレッジの業務委託料があったが、令和4年度から業務の委託を行わなかったため。</p> <p>▶ これから家庭教育はすごく大事になってくる。大阪の大東市では、家庭教育を本丸と捉えて、2つの活動(小学一年生の家に訪問する。子育てサロン「育カフェ」の設置。)を行っているようだが、遠野市でも同様の活動を行ってみてはどうか。(意見)</p>
33	学校と地域の連携・協働推進事業費 (小友福子評価員)	<p>● <b>地域で子どもを育てる活動研究発表会の参加者について</b></p> <p>▶ 今年度の話になるが、先日行われた地域で子どもを育てる研究発表会での講師のお話が非常に良かった。参加者の数が少なかったのもっとたくさんの方にお話を聞いてほしかった。</p> <p>▷ お越しいただいた講師先生からは、依頼があればまた来ていただけるとお話をいただいた。何かの機会にお呼びできればと考えている。</p>
43	文化財調査保護費 (堀村克利評価員)	<p>● <b>郷土芸能の継承活動について</b></p> <p>▶ 夏に中学生と郷土芸能の担い手の方々とのミーティングが開催され、様々な課題等のお話がされたと思うが、その後はどのようにするのか。</p> <p>▷ 調査結果については各学校に概要版ということでお伝えした。令和6年度の郷土芸能協議会の総会において結果を公開し、事業に生かしていただきたいと考えている。郷土芸能共演会には、中学生にも来ていただくよう周知したい。</p>
54	わらすっこの居場所事業費 (新田依子評価員)	<p>● <b>児童館の指導員について</b></p> <p>▶ 児童館の指導員を募集しても、なかなか集まらないとの話を聞いた。人材確保はどのようにしているのか。</p> <p>▷ 保育協会で募集をしているが、なかなか応募がない状況。これは保育士についても同様で、全国的に人材の確保が難しくなっている。国においても処遇改善を行っているが、そもそも人がいない。募集期間を早めたり、働き方の部分で勤務時間を工夫したり試行錯誤しながら進めている状況である。</p>
56	未来へつなぐ子ども家庭支援事業費 (堀村克利評価員)	<p>● <b>児童虐待等について</b></p> <p>▶ 児童虐待やDVの実態はどのようになっているか。</p> <p>▷ 要保護児童、DVの案件とも増加傾向にあり、通報件数も年々増加してきている状況。</p>

評価書 ページ	事業費名 (発言者)	主な意見、質疑等
55	みんなで応援子育ての まち推進事業費  (多田宜史評価員)	<p>● <b>みんなで応援子育てのまち推進事業費について</b></p> <p>▶ 令和3年度の決算額と比較し事業内容は変わらないのに事業費が約3倍となっているのはなぜか。</p> <p>▷ ふるさと納税の寄付金を市のわらすっこ基金に積むにあたり、一度予算として計上する必要があるが、令和4年度はふるさと納税の寄付が増加し、基金に積む金額が大きくなったため、令和3年度よりも令和4年度の決算額が大きくなっている。</p>
資料 N02-2	まちづくり指標  (多田宜史評価員)	<p>● <b>遠野物語ファンタジーについて</b></p> <p>▶ 遠野物語ファンタジーの参加者が固定化、高齢化の傾向がでてきているので、例えば、部活動の地域移行の中で、「ファンタジー部」のような部活動を作ってみてはどうか。(意見)</p>
資料 N02-2	まちづくり指標  (多田宜史評価員)	<p>● <b>市史刊行冊数(累計)について</b></p> <p>▶ まちづくり指標の「市史刊行冊数(累計)」について、累計と記載されているので実績は「斜線」ではなく「1」で良いのではないか。(意見)</p>
全体	全般に関して  (多田宜史評価員)	<p>● <b>「Ⅱ 教育委員会の活動」について</b></p> <p>▶ 前段の教育委員会の活動に、教育委員会で共催・後援した事業を掲載してはどうか。(意見)</p>